

Pioneer

DEH-770

CD/USB/SD/ チューナーメインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

安全のために必ずお守りください

[使用方法]

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

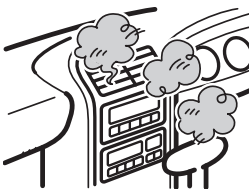
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

目次

安全のために必ずお守りください

- 絵表示について 2
- 安全上のご注意 3

はじめに

- 本書のみかた……………8
- 各部のなまえ……………9
- 本機の特徴……………11
- バッテリー上がりを防ぐために……………12
- 初めて本体を使用する際の設定……………12
- デモモードについて……………13
- リモコンの準備……………13
- フロントパネルの取り外しかた/
取り付けかた……………14
- サブウーファーの設定について……………15

ここだけ読めばすぐ使えます

- 基本的な操作……………17
 - 電源 ON・OFF
 - ソース切り換え
 - 音量調節
- CDのふだんの操作……………18
 - CDを再生する
 - フォルダーを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
 - CDを取り出す
- ラジオのふだんの操作……………19
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
- USBのふだんの操作……………20
 - USB機器の曲を再生する
 - フォルダーを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
- SDのふだんの操作……………21
 - SDカードの曲を再生する
 - フォルダーを選ぶ
 - ファイルを選ぶ
 - 早送り・早戻し

- iPodのふだんの操作……………22
 - iPodの曲を再生する
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
- よく使う機能をボタンで
すぐに操作する……………23

CDを聞く

- ファンクションメニューの
切り換えかた……………24
- 繰り返し再生する……………24
- 違う曲順で再生する……………25
- 再生を一時停止する……………26
- 音を補正して高音質化する……………26
- タイトルやアーティスト名を
表示させる……………27
- タイトルから曲やフォルダーを
さがす……………27

ラジオを聞く

- 放送局を1局ずつ登録する……………29
- 放送局名を見て聞きたい放送局を
呼び出す……………29
- 放送局名を表示する……………30
- ファンクションメニューの
切り換えかた……………30
- 複数の放送局を自動的に登録する……………31
- 放送局名を選ぶ……………31
- レバーの動作を設定する……………32

USB／SDを聞く

- ファンクションメニューの
切り換えかた……………33
- タイトルやアーティスト名を
表示させる……………34
- タイトルを見て聞きたい
フォルダーや曲をさがす……………34

iPodを聞く

チャプターを選ぶ	35
聞きたい曲をさがす	35
リスト表示をアルファベットで 検索する	35
タイトルやアーティスト名を 表示させる	36
iPod で選曲して本機から 再生する	36
ファンクションメニューの 切り換えかた	37
違う曲順で再生する	38
すべての曲をシャッフルしてから 再生する	38
再生中の曲にリンクした曲を 再生する	39
オーディオブックの再生速度を 変更する	39

音を調節する

オーディオ調整メニューの 切り換えかた	40
前後左右の音量バランスを調節する	41
イコライザーカーブを選ぶ	41
イコライザーカーブを調節する	42
小さな音量でも聞きやすくする	42
サブウーファーを使う	43
サブウーファーのON / OFFと 位相切り換え	43
サブウーファーのカットオフ 周波数選択とレベル調節	44
低い音を強調する	44
低い音を出力しないようにする	45
各ソースの音量をそろえる	45

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

CDを聞く

ラジオを聞く

USB / SDを聞く

iPodを聞く

音を調節する

初期設定

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

その他（付録）

目次

初期設定

初期設定メニューの切り換えかた	47
日付を合わせる	47
時計を合わせる	48
本機の使用時間を知らせる	48
USB/iPod ソースの切り換え方法を 設定する	48
フロントパネルの外し忘れを 警告する	49
外部機器 (AUX) の音声を 聞けるようにする	49
夜間のディスプレイの明るさを 切り換える	50
ディスプレイのコントラストを 調節する	50
リアスピーカー出力を設定する	51
ミュート/アッテネートを切り換える	51
フィーチャーデモをON / OFFする	52
スクロールの設定を切り換える	52

便利な機能

瞬時に音を消す	53
カレンダーを表示する	53
経過時間/時計を表示する	53
交通情報を受信する	53
MIXTRAX 機能をON / OFF する	54
エンタテインメントメニューの 切り換えかた	54
音楽に合わせて背景画面を 自動で切り換える	54
背景画面を設定する	55
時計表示を切り換える	56
イルミネーションメニューの 切り換えかた	56
音楽に合わせてボタンと ディスプレイの色を切り換える	56
ボタンの色を選ぶ	57
ディスプレイの色を選ぶ	58

ボタンとディスプレイの色を選ぶ	58
ボタンとディスプレイの 色を調節する	59

取り付けの準備

接続・取り付け部品を確認する	60
取り付けの前に知ってほしいこと	60
接続の前に知ってほしいこと	61

接続・取り付けと動作確認

接続する	62
本体を取り付ける	67
動作を確認する	68

その他 (付録)

CDの正しい使いかた	69
WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルについて	70
ディスク内のフォルダーについて	72
USB機器について	73
SDカードについて	73
USB 機器 / SDカード内の フォルダーについて	74
iPodについて	74
故障かな?と思ったら	76
こんなメッセージが表示されたら	77
保証書とアフターサービス	80
商標・著作権など	80
おもな仕様	82

安全のために必ずお守りください

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

CDを聞く

ラジオを聞く

USB／SDを聞く

iPodを聞く

音を調節する

初期設定

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

その他（付録）

本書のみかた

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。CD やラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外の便利な機能については、「CD を聞く」や「ラジオを聞く」、「音を調節する」など、それぞれの項目をお読みください。

マークについて



注意マーク

- 安全のために必ず守っていただきたいこと、本機を操作するときの注意事項、性能を維持するための注意事項について説明しています。



用語説明マーク

- 操作や機能などの用語について説明しています。

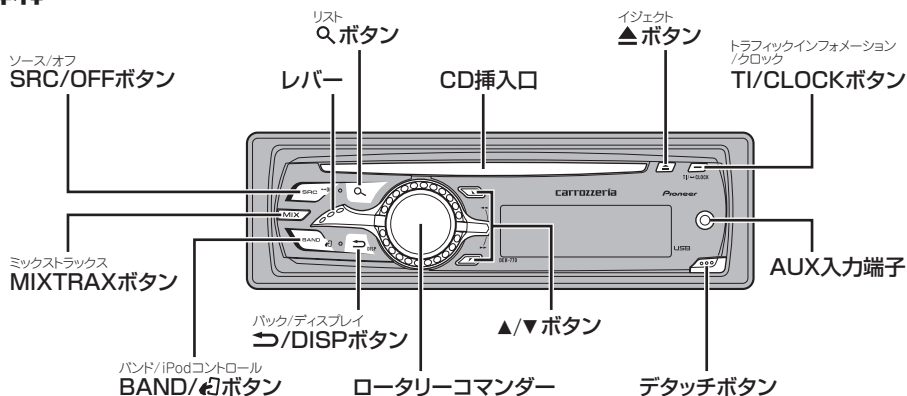


メモマーク

- 操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明しています。

各部のなまえ

本体



は
じ
め
に

ロータリーコマンドーとは

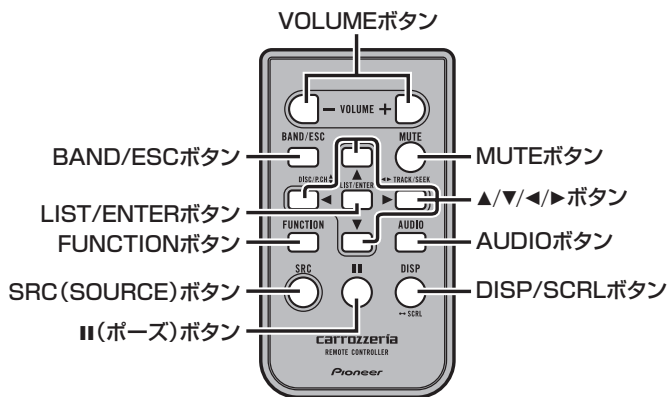
- 「回す」・「中心を押す」の2つの操作を行うことで、本機のさまざまな機能を使うことができます。

レバーを使った操作について

- ロータリーコマンドーと同様に、レバーを使ってセットアップ/ファンクション/オーディオメニュー、初期設定、リストの項目を選択することができます。

リモコン

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。



メモ

- ◀/▶ボタンはCD、USB/iPod、SDソース時に、レバーの「左、右に回す」と同じ働きをします。ソースについては、(⇒「基本的な操作」17ページ)。
- ▲/▼ボタンでセットアップ/ファンクション/オーディオメニュー、初期設定、リストを選択できます。
▶ボタンで項目を決定、◀ボタンで前の画面に戻ります。

ディスプレイ

ソース表示

はじめて

ソースインジケータ
選択されたソース名を表示します。

ソース情報表示部1
バンド、ステレオインジケータ、プリセットチャンネル番号（ラジオ）
トラック番号、フォルダー番号を表示します。

ソースアイコン
選択されたソースをアイコン
で表示します。


ソース情報表示部2
周波数（ラジオ）
再生経過時間（オーディオCD）
ビットレート、再生経過時間（WMA/MP3/AAC）
サンプリング周波数、再生経過時間（WAV）
再生経過時間、再生中の曲番号やリスト収録曲数（iPod）
各種設定内容（ファンクション・オーディオ・イルミネーション・エンタテインメント・初期設定）
などを表示します。







ガイド表示（ファンクション・オーディオ・イルミネーション・エンタテインメント・初期設定）



ガイド表示

現在、有効な操作を示すロータリーコマンドとレバーが点灯します（右図参照）。

 が表示されるときは、ロータリーコマンドとレバーの操作結果が異なります。表示されていないときは、同じ操作結果になります。

	ロータリー操作	押す	長く押す	レバー操作
	○	○	○	○
	○	○	×	○
	○	×	×	○
	×	○	○	×
	×	○	×	×
	×	×	×	×

○：有効 ×：無効

リスト表示

反転表示
再生中の項目（トラックやフォルダー）、受信中の項目（放送局や周波数の表示）は、反転表示されます。

ハイライト表示
選んでいる項目は、ハイライト表示されます。

本機の特徴

多様なメディアと 圧縮フォーマットに対応

本機は、音楽 CD のほか、次のメディアに収録した圧縮オーディオファイルを再生できます。

- CD-R / CD-RW
- USB ポータブルオーディオプレーヤー
- USB メモリー
- SD カード、SDHC カード
- Mini SD カード、Micro SD カード（アダプター使用時）

対応する圧縮フォーマットは、次のとおりです。

- WMA
- MP3
- AAC
- WAV

対応とご注意について詳しくは、(➡「WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルについて」70 ページ)。

また、iPod の接続にも対応しています。

さらに、圧縮フォーマットの楽曲の音を補正する機能として、「アドバンスド・サウンドレトリバー」を搭載しています。この機能により、CD に迫る音質での再生が可能になります。

USB 機器の接続

対応する USB 機器や接続時のご注意については (➡「USB 機器について」73 ページ、「おもな仕様」82 ページ)。

SD カードの使用

SD カード使用時のご注意などについては (➡「SD カードについて」73 ページ、「おもな仕様」82 ページ)。

iPod の接続

本機は、iPod を付属の USB 接続ケーブルで接続して操作できます。本機側からの操作はもちろん、「操作設定」によって iPod 側からの操作が可能です。スムーズな選曲が実現できます。対応する iPod や接続時のご注意については (➡「iPod について」74 ページ)。



メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。



メモ

- 本書では、SD カード、SDHC カード、Mini SD カード、および Micro SD カードを、便宜上「SD カード」と表記しています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON(または ACC)にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



ご注意

●車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、カレンダー設定、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。

ラジオのプリセットメモリーは(→「放送局を1局ずつ登録する」29ページ)、カレンダー設定は(→「日付を合わせる」47ページ)、時計調整は(→「時計を合わせる」48ページ)を参照して、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。

再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

初めて本体を使用する際の設定

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

1 本体を取り付けた後に、車のエンジンをかける

SET UP が表示されます。

2 ロータリーコマンドーを回して、YESを選ぶ



メモ

●セットアップメニューを実行しない場合は、NOを選びます。



ご注意

●NOを選ぶと、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、初期設定メニューで設定してください(→「初期設定メニューの切り換えかた」47ページ)。

3 ロータリーコマンドーを押して、セットアップメニューを表示する

4 ロータリーコマンドーを操作して、各メニューを設定する

以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

カレンダー設定

- ① ロータリーコマンドーを回して、年を合わせる
- ② ロータリーコマンドーを押して、月に切り換える
- ③ ロータリーコマンドーを回して、月を合わせる
- ④ ロータリーコマンドーを押して、日に切り換える
- ⑤ ロータリーコマンドーを回して、日を合わせる
- ⑥ ロータリーコマンドーを押して、次のメニューに切り換える

時計調整

- ① ロータリーコマンドーを回して、時を合わせる
- ② ロータリーコマンドーを押して、分に切り換える
- ③ ロータリーコマンドーを回して、分を合わせる
- ④ ロータリーコマンドーを押して、次のメニューに切り換える

コントラスト調整

- ① ロータリーコマンドーを回して、コントラストを調節する
- ② ロータリーコマンドーを押して、次のメニューに切り換える

デモ設定

- ①ロータリーコマンドを回して、デモ設定を選ぶ

OFF (オフ)



ON (オン)

- ②ロータリーコマンドを押して、セットアップ確認画面に切り換える

QUIT が表示されます。

メモ

- 前のメニューに戻るには、**≡**/DISP ボタンを押します。

5 ロータリーコマンドを回して、YESを選ぶ

メモ

- 設定画面に戻る場合は、NO を選びます。

6 ロータリーコマンドを押して、セットアップメニューを終了する

ご注意

- 約 30 秒間何も操作しないと、セットアップメニューは自動的に解除され、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、初期設定メニューで設定してください(→「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)。

デモモードについて

本機には、フィーチャーデモの機能があります。

フィーチャーデモとは

- フィーチャーデモは、本機が電源 OFF のときや、約 30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能（ファンクションやエンタテインメントなど）の画面を表示して紹介する機能です。
フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときに **≡**/DISP ボタンを長く押してください。もう一度長く押すと、デモが始まります。

また、初期設定でもフィーチャーデモの切り換えが可能です(→「フィーチャーデモを ON/OFF する」52 ページ)。

車のエンジンを止めた状態でフィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

ご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源を OFF にしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。
- 運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定を OFF にしてください。

リモコンの準備

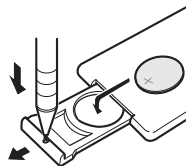
付属のリモコンを使うための準備です。

ご注意

- 初めてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただけます。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）の+側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

次のページに続く

- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。



フロントパネルの取り扱い上のご注意

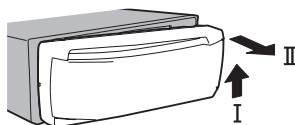
- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合に、フロントパネルおよび本体の端子部をさわらないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。
- フロントパネルのデタッチを行うときは、フロントパネルから AUX ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全上、フロントパネルを外す時は車を停車してください。

フロントパネルの取り外しかた

1 デタッチボタンを押して、ロックを解除する

2 フロントパネルの右側を上げ (I)、手前に引いて取り外す (II)

フロントパネルが外れます。



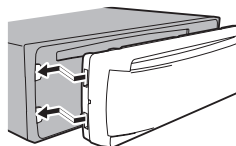
3 フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。

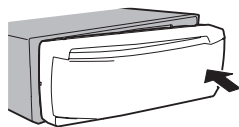
フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください。

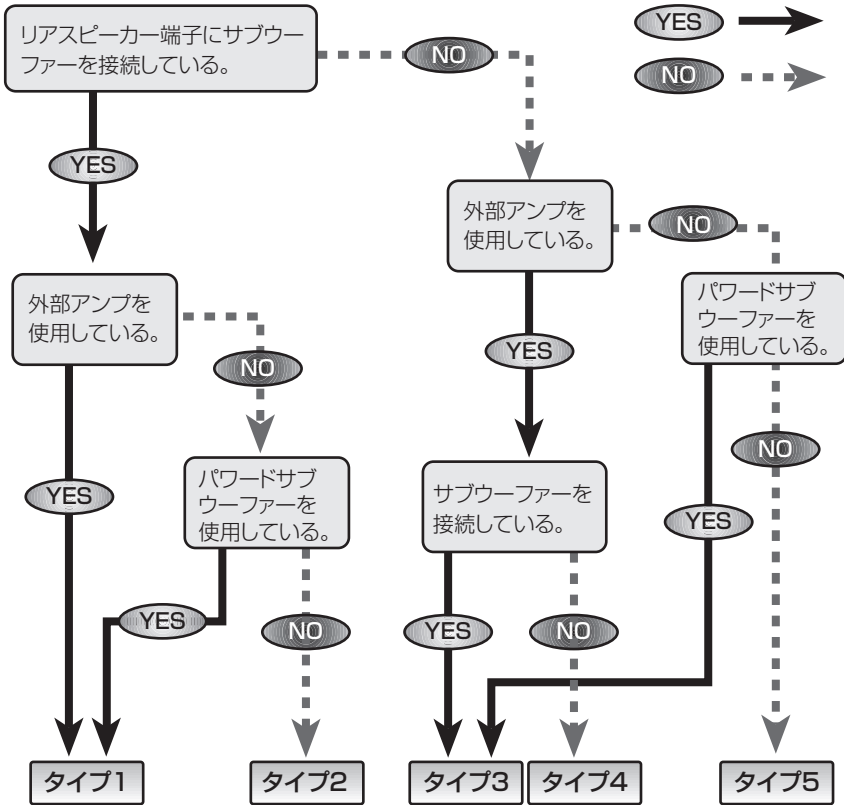


2 フロントパネルの右側を押し、本体に取り付ける



サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができます。サブウーファーの接続方法やシステムによって、サブウーファーの設定方法は大きく異なります。次の表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。



次のページに続く

タイプ 1

※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。

※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。

※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、S/W コントロール設定を「Rear SP:S/W」にする (→「リアスピーカー出力を設定する」51 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、「Subwoofer1」を Normal または Reverse にする (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」43 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う (→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

タイプ 2

1. 初期設定メニューで、S/W コントロール設定を「Rear SP:S/W」にする (→初期設定「リアスピーカー出力を設定する」51 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、「Subwoofer1」を Normal または Reverse にする (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」43 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う (→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

タイプ 3

※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。

※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。

※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする (→「リアスピーカー出力を設定する」51 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、「Subwoofer1」を Normal または Reverse にする (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」43 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う (→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

タイプ 4

※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。

※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。

1. 初期設定メニューで、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする (→「リアスピーカー出力を設定する」51 ページ)

タイプ 5

1. 初期設定メニューで、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする (→「リアスピーカー出力を設定する」51 ページ)

基本的な操作

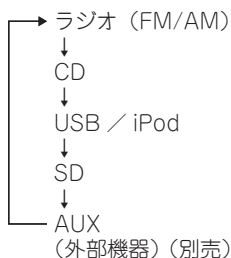
電源 ON・OFF ソース切り換え 音量調節

1 SRC/OFF ボタンを押して、電源をONにする

本機の電源が ON になります。

2 SRC/OFF ボタンを押して、ソースを切り換える

押すごとに次のように切り換わります。



ソースとは

- SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、CD やラジオなどの音源のことです。

3 ロータリーコマンドを回す

音量が変わります。

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 SRC/OFF ボタンを長く押し、電源をOFFにする

本機の電源が OFF になります。

メモ

- 音量の調節範囲は 0 ～ 62 です。
- 次の場合にも、電源が ON になります。
 - ・ディスクを挿入口に差し込んだとき
 - ・USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合に、USB や iPod を接続したとき (→ 「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」 48 ページ)
- 次の場合、該当のソースには切り換わりません。
 - ・対応する機器を接続していない
 - ・ディスクをセットしていない
 - ・AUX ソースを OFF にしている (→ 「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」 49 ページ)
- AUX は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください (→ 「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」 49 ページ)。
- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります (→ 62 ページ)。また、オートアンテナ車のアンテナを下げる場合は、電源 OFF にしてください。
- CD をセットしたまま電源を OFF にすることもできます。
- 電源が OFF のときでも、▲ ボタンを押して CD を取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしてもカレンダー、時計は表示されます。

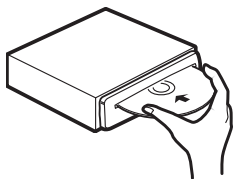
CD のふだんの操作

CDを再生する フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ
早送り・早戻し CDを取り出す

画面例



1 CDをCD挿入口に差し込む



↓
CDの再生が始まります。

すでにCDが挿入されている場合は、SRC/OFFボタンを押してCDソースに切り換えます。

2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、フォルダーを選ぶ

圧縮オーディオ再生時に、フォルダーが選べます。

次のフォルダーを選ぶ：▲ボタンを押す
前のフォルダーを選ぶ：▼ボタンを押す

3 レバーを回して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ：右に回す
前の曲を選ぶ：左に回す

4 レバーを回して、早送り／早戻しする

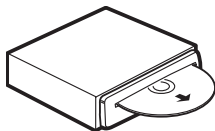
早送り：右に0.5秒以上回して離す
早戻し：左に0.5秒以上回して離す

5 SRC/OFFボタンを押してソースを切り換えるか、SRC/OFFボタンを長く押して、本機の電源をOFFにする

再生が終わります。

6 ▲ボタンを押して、CDを取り出す

CDが出てきます。



📌 ご注意

- CDはレーベル面を上にして差し込みます。
- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 「CD TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスクでは、ディスクタイトル、曲名などを表示できます（▶「タイトルやアーティスト名を表示させる」27ページ）。表示を切り換えている場合は、ディスクを挿入したときや、他のソースからCDに切り換えたときなどに、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- 本機は、挿入されたディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- 8 cmディスクには対応していません。また、アダプターを装着した8 cmディスクも絶対に使用しないでください。
- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- ▲ボタンを押してCD再生をやめたときは、自動的に本機の電源がOFFになります。
- CD/CD-R/CD-RWを使用するときのご注意については、▶「CDの正しい使いかた」169ページ。

✍ 知っている则便利

- 圧縮オーディオファイル再生時は、BAND/🔍ボタンを長く押すと、フォルダー01（ROOT）に戻ります。ただし、フォルダー01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- CDを挿入したまま、本機の電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- 圧縮オーディオファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND/🔍ボタンを押します。再生は、それぞれ先頭の曲から始まります。

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

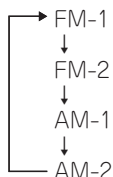
画面例



1 SRC/OFFボタンを押して、ラジオソースに切り換える

2 BAND/↻ボタンを押して、バンドを選ぶ

押すごとに、次の順序でバンドが切り換わります。



3 ▲ボタンまたは▼ボタンを押す

プリセット番号順に放送局を受信します。

次のプリセットチャンネルを選ぶ：

▲ボタンを押す

前のプリセットチャンネルを選ぶ：

▼ボタンを押す

 知っていると便利

- レバーを左右に回すことでプリセットチャンネルを選ぶこともできます。
- 放送局を手動で選局する場合は、レバーの動作設定をマニュアル シーク（手動選局）に設定します。（⇒「レバーの動作を設定する」32ページ）

マニュアル シークに設定後は、以下のよう
にレバーを操作して手動選局を行います。

右または左に回す：

周波数を順番に送る


右または左に約0.5秒以上回して離す：

受信可能な放送局が見つかるまで自動
で周波数を送る

- レバーを左または右に回し続けている間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。

4 SRC/OFFボタンを押して
ソースを切り換えるか、SRC/
OFFボタンを長く押して、本機
の電源をOFFにする

ラジオの受信が終わります。

 知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます（⇒「放送局を1局ずつ登録する」29ページ、「複数の放送局を自動的に登録する」31ページ）。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

USB のふだんの操作

USB 機器の曲を再生する フォルダーを選ぶ
曲を選ぶ 早送り・早戻し

画面例



1 USB 機器を接続する

接続方法については、(➡「接続する」
62 ページ)。

2 SRC/OFF ボタンを押して、 USB ソースに切り換える

再生が始まります。

3 ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを 押して、フォルダーを選ぶ

次のフォルダーを選ぶ： ▲ ボタンを押す
前のフォルダーを選ぶ： ▼ ボタンを押す

4 レバーを回して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ： 右に回す
前の曲を選ぶ： 左に回す

5 レバーを回して、早送り／ 早戻しする

早送り： 右に回し続ける
早戻し： 左に回し続ける

6 SRC/OFF ボタンを押して ソースを切り換えるか、SRC/ OFF ボタンを長く押して、本機 の電源を OFF にする

再生が終わります。

📌 ご注意

- 対応する USB 機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります。(➡「USB 機器について」73 ページ)。
- USB 機器を使用するときのご注意については、(➡「USB 機器について」73 ページ)。
- USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合、USB 機器によっては、接続したままエンジンを OFF から ON にしたとき、意図せずに USB ソースに切り換わることがあります。必要に応じて設定を切り換えてください(➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」48 ページ)。
- 早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。

📝 メモ

- USB 機器を接続したまま、本機の電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができません。
- USB 機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB 機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。
- BAND/🔊 ボタンを長く押しすと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- 本機は、接続された USB 機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「FORMAT READ」と表示されます。USB 機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- 接続する USB 機器にマストレージクラス対応のメモリデバイスが複数ある場合、再生するメモリデバイスを切り換えることができます。切り換えるときは、BAND/🔊 ボタンを押します。切り換えられるメモリデバイスの数は 32 までです。

SD のふだんの操作

SDカードの曲を再生する フォルダーを選ぶ
ファイルを選ぶ 早送り・早戻し

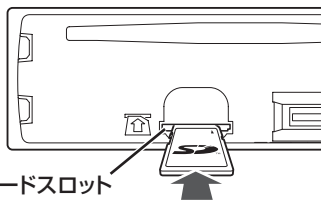
画面例



1 フロントパネルを本体から取り外す

(⇒「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ)

2 SDカードをSDカードスロットに挿入する



3 フロントパネルを本体に取り付ける

(⇒「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ)

4 SRC/OFFボタンを押して、SDソースに切り換える

再生が始まります。

5 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、フォルダーを選ぶ

次のフォルダーを選ぶ： ▲ボタンを押す
前のフォルダーを選ぶ： ▼ボタンを押す

6 レバーを回して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ： 右に回す
前の曲を選ぶ： 左に回す

7 レバーを回して、早送り／早戻しする

早送り：右に回し続ける
早戻し：左に回し続ける

8 フロントパネルを本体から取り外す

(⇒「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ)

9 SDカードを取り出す

“カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで離すと、SDカードが押し出されます。

📌 ご注意

- SDカードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。
- 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

10 フロントパネルを本体に取り付ける

(⇒「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ)

11 SRC/OFFボタンを押してソースを切り換えるか、SRC/OFFボタンを長く押して、本機の電源をOFFにする

📌 ご注意

- SDカードは、ラベル面を上にして差し込みます。
- 対応するSDカードをご使用ください。ただし、対応するSDカードでも正しく動作しない場合があります(⇒「SDカードについて」73 ページ)。
- SDカードを使用するときのご注意については、(⇒「SDカードについて」73 ページ)。
- 早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。

✎ メモ

- SDカードは、いつでも本機から取り出すことができます。
- BAND/🔍ボタンを長く押すと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する 曲を選ぶ 早送り・早戻し

iPod Dock コネクタ (USB2.0 ケーブル用) を使用して iPod を本機に接続をして操作できます。

画面例



1 iPod を接続する

接続方法については、(⇒「接続する」62 ページ)。

2 SRC/OFF ボタンを押して、USB ソースに切り換える

再生が始まります。

3 ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、アルバムを選ぶ

次のアルバムを選ぶ： ▲ ボタンを押す
前のアルバムを選ぶ： ▼ ボタンを押す

4 レバーを回して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ： 右に回す
前の曲を選ぶ： 左に回す

5 レバーを回して、早送り／早戻しする

早送り： 右に回し続ける
早戻し： 左に回し続ける

6 SRC/OFF ボタンを押してソースを切り換えるか、SRC/OFF ボタンを長く押して、本機の電源を OFF にする

再生が終わります。

注意

- iPod に同じ名前のアルバムが複数ある場合、▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押してアルバムを選択できないことがあります。ブラウズモード (⇒「聞きたい曲をさがす」35 ページ) で聞きたいアルバムを選択してください。
- iPhone/iPod touch 以外では、再生範囲が 1 曲リピートのときは、レバーを回して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。
- USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合、iPod によっては、接続したままエンジン を OFF から ON にしたとき、意図せずに iPod ソースに切り換わることがあります。必要に応じて設定を切り換えてください (⇒「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」48 ページ)。
- iPod を使用するときのご注意や iPod の設定については ⇒「iPod について」74 ページ。

メモ

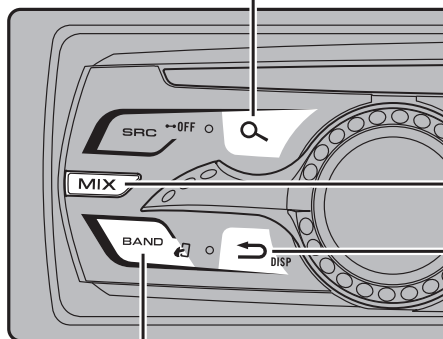
- iPod を接続したまま、本機の電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- iPod は、いつでも取り外すことができます。
- 再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、レバーを回して、チャプターが選べます。
 - ・ 次のチャプターを選ぶ： 右に回す
 - ・ 前のチャプターを選ぶ： 左に回す
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- 「操作設定」を「AUDIO」に設定した場合、iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を ON / OFF することはできません (⇒「iPod で選曲して本機から再生する」36 ページ)。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。

よく使う機能をボタンで すぐに操作する

🔍 ボタン

押すと、ソースごとに異なるリストが表示されます。

- CD ➡ 「タイトルから曲やフォルダーをさがす」27 ページ
- ラジオ ➡ 「放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す」29 ページ
- USB/SD ➡ 「タイトルを見て聞きたいフォルダーや曲をさがす」34 ページ
- iPod ➡ 「聞きたい曲をさがす」35 ページ



MIXTRAX ボタン

USB、SD、iPod ソースのときに押すと、MIXTRAX 機能が ON になります (➡ 「音楽に合わせて背景画面を自動で切り換える」54 ページ)。

BAND/📻 ボタン

メニューや曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (トラック/ファイル/フォルダーリスト) が表示されているときに押すと、ふだんの再生画面に戻ります。

ラジオソースのときに押すと、バンドが切り換わります (➡ 「ラジオのふだんの操作」19 ページ)。

iPod ソースのときに押すと、「コントロールモード」の設定が切り換わります (➡ 「iPod で選曲して本機から再生する」36 ページ)。

🔁/DISP ボタン

押すたびに、ディスプレイの表示を切り換えることができます。

長く押すと、「デモ設定」を ON/OFF できます (➡ 「デモモードについて」13 ページ)。

📝 メモ

- ディスプレイの表示を変えられない場合もあります。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 CDソースにする

(⇒「基本的な操作」17ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

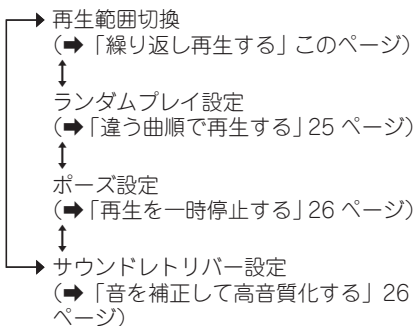
メインメニューが表示されます。

3 ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

ファンクションメニューが表示されます。

4 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。



知っていると便利

- リモコンのFUNCTIONボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/◀ボタンを押します。
- ひとつ前の画面に戻るには ▶/DISP ボタンを押します。

繰り返し再生する

再生範囲切換

曲を繰り返し(リピート)再生できます。繰り返しの範囲は、いま聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ソースやディスクによって異なります。

1 ロータリーコマンドを操作して、再生範囲切換にする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ)

2 ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

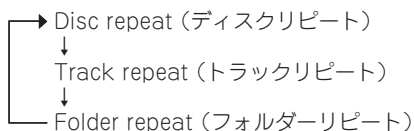
■ CDを再生しているとき

Disc repeat (ディスクリピート)



Track repeat (トラックリピート)

■ WMA / MP3 / AAC / WAV を再生しているとき



Disc repeat :

いま聞いているディスクを繰り返し再生します。

Track repeat :

いま聞いている曲を繰り返し再生します。

Folder repeat :

いま聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

3 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- 選んだ再生範囲は、「ランダムプレイ設定」の再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選ぶ

ランダムプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます。

(→「繰り返し再生する」24 ページ)

2 ロータリーコマンドーを操作して、ランダムプレイ設定にする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」24 ページ)

3 ロータリーコマンドーを押す

ランダムプレイ設定が ON になり、次の曲から、ランダムに再生されます。

もう一度押すと、OFF になります。

4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD : ディスクリピート
圧縮オーディオファイル : フォルダーリピート
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、レバーを右に回して切り換えてください。レバーを左に回すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

ポーズ設定

曲の再生を一時停止できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、ポーズ設定にする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」24 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

音を補正して高音質化する

サウンドレトリバー設定

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。

アドバンスド・サウンドレトリバーとは

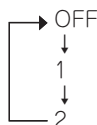
- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。アドバンスド・サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 ロータリーコマンドーを操作して、サウンドレトリバー設定にする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」24 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。



メモ

- 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。
- サウンドレトリバーの設定値は、MIXTRAX 機能が ON の状態と OFF の状態で別々に記憶されます。
MIXTRAX 機能を ON に設定した場合は、改めて上記の操作を行ってください(→「MIXTRAX 機能を ON / OFF する」54 ページ)。

3 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

タイトルやアーティスト名を表示させる

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。

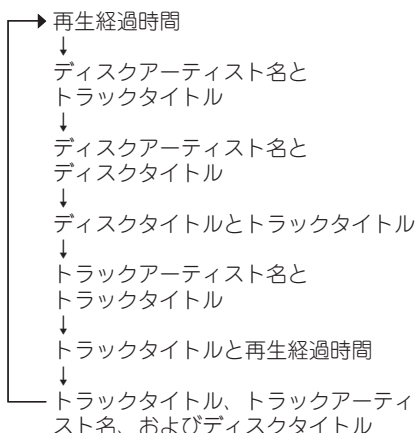
1 CD ソースにする

(⇒「基本的な操作」17 ページ)

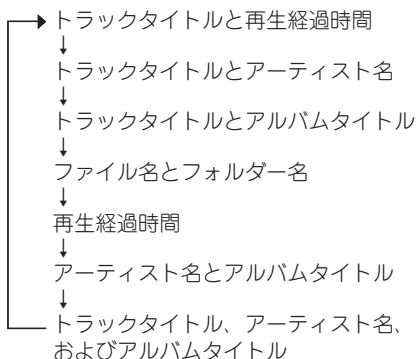
2 ⇄/DISP ボタンを押す

⇄/DISP ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

■ CD TEXT を再生しているとき



■ WMA / MP3 / AAC / WAV を再生しているとき



メモ

- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、タイトル表示は空白になります。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示させることができます。
- 音楽データや WMA / MP3 / AAC / WAV ディスク以外では、タイトルは表示しません。
- MP3 ファイルや AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

音楽データ (CD-DA) や圧縮オーディオの再生中に、曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (トラック／ファイル／フォルダーリスト) を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

1 CD ソースにする

(⇒「基本的な操作」17 ページ)

次のページに続く

2 🔍 ボタンを押して、トラック／ファイル／フォルダーリストを表示する

3 🔄 ロータリーコマンダーを回して、トラック番号、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

次のトラック／曲／ファイル／フォルダーを選ぶ：右に回す

前のトラック／曲／ファイル／フォルダーを選ぶ：左に回す

4 📁 フォルダースの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、そのフォルダー内のフォルダー／ファイルを表示する

📝 メモ

- フォルダースが表示されているときにロータリーコマンダーを長く押すと、そのフォルダース内のはじめの曲から再生されます。

5 📁 トラック／曲／ファイルの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、再生する

📝 メモ

- ロータリーコマンダーを回して、フォルダース名やファイル名を切り換えることもできます。
- 前のリスト（1つ上の階層のフォルダース）に戻るには、🏠/DISP ボタンを押します。
- 最上位の階層に戻るには、🏠/DISP ボタンを長く押します。
- リスト表示画面から再生画面に戻るには、BAND/🔍 ボタンまたは 🔍 ボタンを押します。
- トラック／フォルダース／ファイルリストは、必ず先頭・ROOT から表示されます。
- フォルダース内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。
- フォルダース内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンダーを押しても再生されません。
- トラック番号やトラック／フォルダース／ファイルリストは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

放送局を1局ずつ登録する

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます(プリセットメモリー)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンド、登録したい放送局を選ぶ

(→「ラジオのふだんの操作」19ページ)

2 🔍 ボタンを押す

ステーションリストが表示されます。

3 登録したいプリセット番号を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、1～6の中から選びます。

4 ロータリーコマンドを長く押す

放送局が登録されます。

登録動作中に押したプリセット番号(登録番号)が点滅します。

登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

1～6のプリセット番号に登録した放送局を、放送局名の一覧(ステーションリスト)の中からさがすことができます。

1 バンドを選ぶ

(→「ラジオのふだんの操作」19ページ)

2 🔍 ボタンを押す

ステーションリストが表示されます。

3 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに放送局が切り換わります。


次の放送局を選ぶとき：右に回す

前の放送局を選ぶとき：左に回す

4 ロータリーコマンドを押す

選んだ放送局を受信されます。

メモ

- リスト表示については(→「各部のなまえ」9ページ)。
- 表示されている放送局名が受信している放送局と異なる場合、放送局名を変更することができます(→「放送局名を選ぶ」31ページ)。
- 放送局名が登録されていない放送局の場合、周波数が表示されます。
- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND/ ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの受信画面に戻ります。)

放送局名を表示する

受信している放送局の放送局名を表示できます。

1 ↵/DISP ボタンを押す

放送局名が表示されます。
もう一度押すと放送局名表示が消えます。



知っているとお便利

- 表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更できます（⇒「放送局名を選ぶ」31ページ）。

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」「放送局名を選ぶ」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ラジオソースにする

（⇒「基本的な操作」17ページ）

2 ロータリーコマンドを押す

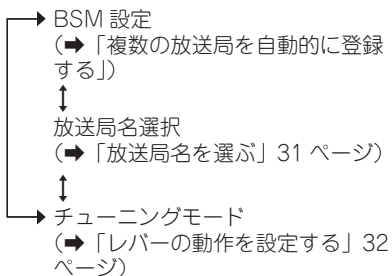
メインメニューが表示されます。

3 ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

ファンクションメニューが表示されます。

4 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。



知っているとお便利

- リモコンのFUNCTIONボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- 受信画面に戻るときは、BAND/🔍ボタンを押します。（約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。）
- ひとつ前の画面に戻るには、↵/DISPボタンを押します。

複数の放送局を自動的に登録する

BSM設定

受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。

BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 登録するバンドを選ぶ

(⇒「ラジオのふだんの操作」19ページ)

2 ロータリーコマンダーを操作して、BSM設定にする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」30ページ)

3 ロータリーコマンダーを押す

BSMによる登録が始まります。

登録が完了するとステーションリストに切り換わり、プリセット番号1に登録された放送局を受信します。

メモ

- 登録動作中にロータリーコマンダーを押すと、BSMの登録処理を途中でやめることができます。

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局を選べます。

ご注意

- 本機に登録されていない放送局名は選べません。

1 ロータリーコマンダーを操作して、放送局名選択にする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」30ページ)

2 ロータリーコマンダーを押す

3 放送局を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに放送局が切り換わります。

次の放送局名を選ぶとき：右に回す

前の放送局名を選ぶとき：左に回す

4 放送局を変更する

ロータリーコマンダーを押して変更します。

5 BAND/ ボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります。

知っている则便利

- 放送局を表示させたくないときは、すべて空白の表示を選びます。

メモ

- 選んだ周波数に該当する放送局が登録されていない場合、「放送局データなし」と表示されます。

レバーの動作を設定する

チューニングモード

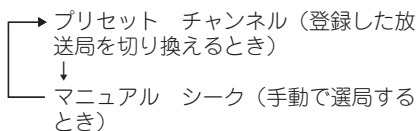
ラジオソース時のレバー動作を設定することができます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、チューニングモードにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」30ページ)

2 ロータリーコマンダーを押して、設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに、次の順序でチューニングモードが切り換わります。



3 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 USBまたはSDソースにする

USB ソースの場合は USB、SD ソースの場合は SD に切り換えます。

(⇒「基本的な操作」17 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

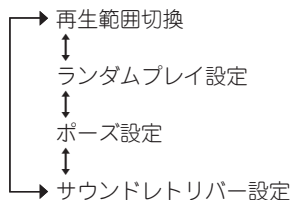
メインメニューが表示されます。

3 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドを押します。

4 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。



知っていると便利

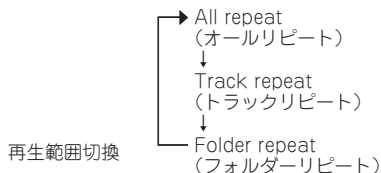
- リモコンの FUNCTION ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)
- ひとつ前の画面に戻するには、DISP ボタンを押します。

ファンクションメニューの以下の機能は、CD の場合と基本的に同じです。操作方法については、CD のページをご覧ください。

機能	操作
再生範囲切換	(⇒「繰り返し再生する」24 ページ) 切り換わる再生範囲は、CD の場合とは異なります。



All repeat :
すべての曲を繰り返し再生します。

Track repeat :
いま聞いている曲を繰り返し再生します。

Folder repeat :
いま聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

ランダムプレイ設定	(⇒「違う曲順で再生する」25 ページ)
ポーズ設定	(⇒「再生を一時停止する」26 ページ)
サウンドレトリバー設定	(⇒「音を補正して高音質化する」26 ページ)

タイトルやアーティスト名を表示させる

トラックタイトルやアーティスト名などを表示できます。操作方法は、CDの場合と同じです(➡27ページ)。

タイトルを見て聞きたいフォルダーや曲をさがす

ファイル名やフォルダー名の一覧(フォルダー／ファイルリスト)を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。操作方法は、CDの場合と同じです(➡27ページ)。

チャプターを選ぶ

再生しているオーディオブックにチャプターがある場合、チャプターを選べます。

1 レバーを回す

チャプターが切り換わります。

次のチャプターを選ぶとき：右に回す

前のチャプターを選ぶとき：左に回す

聞きたい曲をさがす

ジャンル、アーティスト、アルバムなどの項目から、お好みの曲を選んで再生できます。

📌 ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

1 🔍 ボタンを押す

ブラウズモードになります。

2 ローターコマンドを回して項目を選び、ロータリーコマンドを押す

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、Podcast (ポッドキャスト)、ジャンル、作曲者、オーディオブックの中から選べます。

3 手順2の操作を繰り返して、項目を絞り込む

4 ローターコマンドを回してお好みの曲を選び、ロータリーコマンドを押す

お好みの曲の再生が始まります。

📌 知っている则便利

- レバーを回して、項目を選ぶこともできます。
- 前の項目 (1つ上の階層) に戻るには、⏪ / DISP ボタンを押します。
- 最上位の階層に戻るには、⏪ / DISP ボタンを長く押します。
- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND / 🔄 ボタンを押します。
- アルファベット順に表示する項目のときに、🔍 ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります (→「リスト表示をアルファベットで検索する」このページ)。
- 再生したい項目を選んでおるときにロータリーコマンドを長く押すと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。

リスト表示をアルファベットで検索する

アーティストやアルバムなどのリスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。

📌 ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベット、数字、および記号で記録されているものが対象です。

1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する

「聞きたい曲をさがす」の手順 1 ~ 4 を参照して、アーティストやアルバムなどのリストを表示します。

(→「聞きたい曲をさがす」このページ)

2 リスト表示中に 🔍 ボタンを押す

アルファベットサーチモードに切り換わります。

もう一度 🔍 ボタンを押すと、アルファベットサーチモードを解除します。

次のページに続く



メモ

- ロータリーコマンドを2回連続で回して、入力画面を表示させることもできます。

3

ロータリーコマンドを回して検索したいアルファベットを表示し、ロータリーコマンドを押す

指定したアルファベットを先頭にして、リストが表示されます。



ご注意

- 対象となる曲がなかったときは、「NOT FOUND」が表示されたあとリスト表示に戻ります。



メモ

- ブラウズモード (→「聞きたい曲をさがす」35 ページ) に戻るには、/DISP ボタンを押します。

4

ロータリーコマンドを操作してお好みの曲を選ぶ

(→「聞きたい曲をさがす」35 ページ)

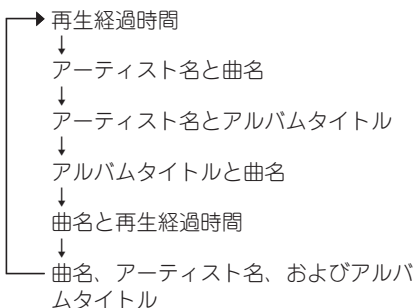
タイトルやアーティスト名を表示させる

iPod に記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示させることができます。

1

⇨/DISP ボタンを押す

⇨/DISP ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。



メモ

- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod で選曲して本機から再生する

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらでするか切り換えられます (コントロールモード)。iPod に設定すると、iPod の画面で操作できます。

APP に設定すると、iPod アプリケーションからの音声を本機で再生できます。



ご注意

- 以下の iPod では本機能は使用できません。
 - 第5世代 iPod
 - 第1世代 iPod nano
 最新の情報については、カロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。
- APP モードに対応している iPod は以下の iPod です。
 - 第6世代 iPod nano : Ver. 1.0 以降
 - 第5世代 iPod nano : Ver. 1.0.2 以降
 - 第4世代 iPod touch : Ver. 4.1 以降
 - 第3世代 iPod touch : Ver. 3.0 以降
 - 第2世代 iPod touch : Ver. 3.0 以降
 - 第1世代 iPod touch : Ver. 3.0 以降
 - iPhone 4 : Ver. 4.1 以降
 - iPhone 3GS : Ver. 3.0 以降
 - iPhone 3G : Ver. 3.0 以降
 - iPhone : Ver. 3.0 以降

1

iPod ソースにする

(→「基本的な操作」17 ページ)

2 BAND/おボタンを押して、コントロールモードを切り換える

押すごとに iPod、APP と AUDIO が切り換わります。

iPod :

iPod で選曲などの操作をします。

APP :

APP モードに対応している iPod で、iPod アプリケーションからの音声を再生します。

AUDIO :

本機で選曲などの操作をします。

ご注意

- iPod および APP に設定した場合は、以下の制限があります。
 - －ファンクションメニューは、ポーズ設定とサウンドレトリバー設定のみ選択できます。
 - －ブラウズモード (⇒「聞きたい曲をさがす」35 ページ) には切り換わりません。
 - －音量は本機からしか調節できません。
- iPod/APP に設定すると、再生は停止されます。iPod を操作して、再生してください。

知っている则便利

- コントロールモードを iPod/APP に設定していても、本機から次の操作ができます。
 - －タイトルの表示切り換え (「iPod」設定のみ)
 - －一時停止
 - －選曲
 - －早送り/早戻し

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 iPod ソースにする

(⇒「基本的な操作」17 ページ)

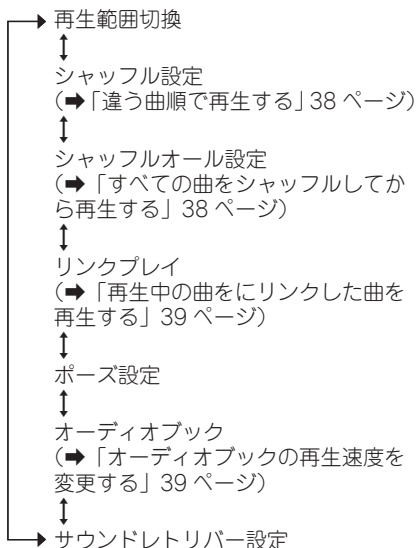
2 ローターリーコマンダーを押す

メインメニューが表示されます。

3 ローターリーコマンダーを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンダーを押す

4 ローターリーコマンダーを回す

ロータリーコマンダーを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。



知っている则便利

- リモコンの FUNCTION ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

次のページに続く

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/🔊 ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)
- ひとつ前の画面に戻るには ⏪/DISP ボタンを押します。
- 「コントロールモード」を「iPod」「APP」にした場合、ポーズ設定とサウンドレトリバー設定のみ選択できます(➡「iPod で選曲して本機から再生する」36ページ)。

ファンクションメニューの以下の機能は、CDの場合と基本的に同じです。操作方法については、CDのページをご覧ください。

機能	操作
再生範囲切換	(➡「繰り返し再生する」24ページ) 切り換わる再生範囲は、CDの場合とは異なります。 Repeat One (1曲リピート) ↓ Repeat All (リスト内全曲リピート) Repeat One : いま聞いている曲を繰り返し再生します。 Repeat All : いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。
ポーズ設定	(➡「再生を一時停止する」26ページ)
サウンドレトリバー設定	(➡「音を補正して高音質化する」26ページ)

違う曲順で再生する

シャッフル設定

曲やアルバムを順番不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、シャッフル設定にする

(➡「ファンクションメニューの切り換えかた」37ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序でシャッフル設定が切り換わります。



Shuffle Songs :

いま聞いているリスト内の曲をランダムに再生します。

Shuffle Albums :

アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生します。

3 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

すべての曲をシャッフルしてから再生する

シャッフルオール設定

iPodのミュージックライブラリ内のすべての曲を順番不同(ランダム)に再生できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、シャッフルオール設定にする

(➡「ファンクションメニューの切り換えかた」37ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

「ON」が2秒間表示され、全曲シャッフル再生が始まります。

3 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- 全曲シャッフルを解除するには、「シャッフル設定」で「Shuffle OFF」を選びます(➡「違う曲順で再生する」このページ)。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

リンクプレイ

再生中の曲にリンクしたリストの曲を再生します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。再生できるのは次のリストです。

- ・再生中のアーティストのアルバムリスト
- ・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
- ・再生中のジャンルのアルバムリスト

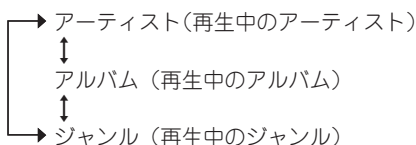
📌 ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。
- リンクのサーチ条件に関連したリストがない場合は、「見つかりません」と表示されます。
- 曲によっては、切り換わる際に終わりや始まりの音が切れる場合があります。

1 ロータリーコマンドーを操作して、リンクプレイを選ぶ

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」37 ページ)

2 ロータリーコマンドーを回して、リンクのサーチ条件を切り換える



3 ロータリーコマンドーを押して、リンクのサーチ条件を選ぶ

現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。

📌 ご注意

- リンクプレイ以外の操作を行うと、リンクプレイでの選択結果が解除される場合があります (例：早送り／早戻し)。

アーティスト：再生中のアーティストの曲
アルバム：再生中のアルバムに収録されている曲
ジャンル：再生中のジャンルの曲

オーディオブックの再生速度を変更する

オーディオブック

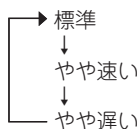
オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、オーディオブックにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」37 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生速度が切り換わります。



3 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

オーディオ調整メニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオ調整メニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

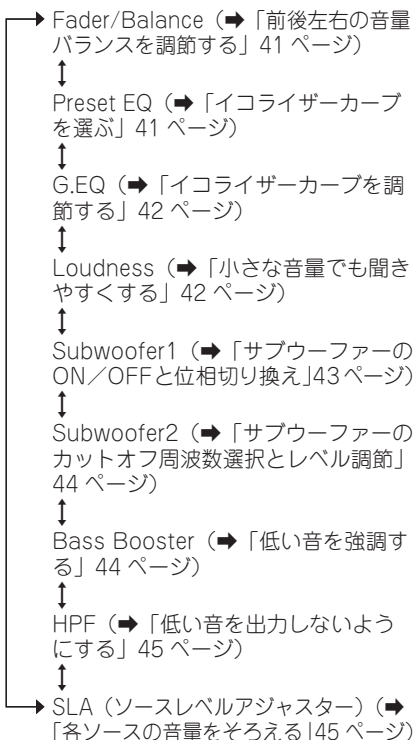
1 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます。

2 ロータリーコマンドを回してAUDIOを選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。



知っている则便利

- リモコンのFUNCTIONボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ボタンを押します。(イコライザー5バンド調節メニューを選んでいるとき以外は、約30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- ひとつ前の画面に戻するには、DISPボタンを押します。
- Subwoofer2は、Subwoofer1の設定がONのときだけ選べます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

前後左右の音量バランスを調節する

Fader/Balance

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

📌 ご注意

- リアスピーカー出力の設定（→「リアスピーカー出力を設定する」51ページ）を「Rear SP:S/W」にしたときは、Fader（フェーダー）は調節できません。

1 ロータリーコマンドーを操作して、Fader/Balanceにする

（→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40ページ）

2 ロータリーコマンドーを押す

Fader/Balance を選びます。

3 ロータリーコマンドーを操作して、音量バランスを調節する

■ 前後を調節するとき

ロータリーコマンドーを押して、前後のバランス設定に切り換える

前を強める： 右に回す

後ろを強める：左に回す

前後のバランスは、Fad F 15 ~ Fad R 15 の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

ロータリーコマンドーを押して、左右のバランス設定に切り換える

右を強める：右に回す

左を強める：左に回す

左右のバランスは、Bal L 15 ~ Bal R 15 の範囲で調節できます。

4 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

イコライザーカーブを選ぶ

Preset EQ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。

📌 ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、イコライザーカーブを選べません。

1 ロータリーコマンドーを操作して、Preset EQにする

（→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40ページ）

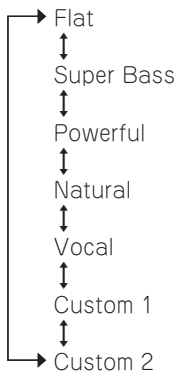
2 ロータリーコマンドーを押す

Preset EQ を選びます。

3 ロータリーコマンドーを回す

お好みのイコライザーカーブを選びます。

ロータリーコマンドーを回すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります。



4 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。



メモ

- 「Custom1」と「Custom2」は、お好みに合わせて調節できます。
- 「Flat」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブと切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

イコライザーカーブを調節する

G.EQ

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調節できます。



Custom1 とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。「Custom2」以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に「Custom1」に登録されます。



Custom2 とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。「Custom2」を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。

1 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

(→「イコライザーカーブを選ぶ」41ページ)

2 ロータリーコマンドーを操作して、G.EQにする

(→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40ページ)

3 ロータリーコマンドーを押す

G.EQ を選びます。

4

ロータリーコマンドーを回す

周波数を選びます。

高い周波数を選ぶとき：右に回す

低い周波数を選ぶとき：左に回す

100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHzの中から選べます。

5

ロータリーコマンドーを押して、レベル調節に切り換える

6

ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節します。

レベルを大きくするとき：右に回す

レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは-6～+6の範囲で調節できます。



メモ

- 調節するイコライザーカーブによっては、調節範囲が異なります。

7

BAND/↶ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

小さな音量でも聞きやすくする

Loudness

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1

ロータリーコマンドーを操作して、Loudnessにする

(→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

ラウドネスが ON になります。
もう一度押すと、OFF になります。

3 ロータリーコマンドーを回す

ラウドネスの効果を選びます。
Low (弱)、Mid (中)、High (強) の中
から選べます。

4 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子、または RCA 出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、

- ①サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え
- ②サブウーファー調節の 2 つのステップで行います。

「サブウーファーの設定について」(→ 15 ページ)を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。

📌 ご注意

- 「Subwoofer1」(→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」このページ)を「OFF」にした場合は、「Subwoofer2」(→「サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節」44 ページ)は操作できません。

サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え

Subwoofer 1

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーの設定を ON にする必要があります。

ON にしたあと、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

🔍 位相切り換えとは

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される

逆相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 ロータリーコマンドーを操作して、Subwoofer 1 にする

(→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

Subwoofer 1 を選びます。

3 OFF になっている場合は、ロータリーコマンドーを押す

サブウーファーが ON になります。
もう一度押すと、OFF になります。

4 ロータリーコマンドーを回す

サブウーファーの位相を選びます。

正相(Normal)を選ぶとき：右に回す

逆相(Reverse)を選ぶとき：左に回す

次のページに続く

5 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

Subwoofer2

サブウーファーから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、Subwoofer2にする

(→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

Subwoofer2 を選びます。

3 ロータリーコマンドーを回す

カットオフ周波数を選びます。

高い周波数を選ぶとき：右に回す

低い周波数を選ぶとき：左に回す

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz の中から選べます。

4 ロータリーコマンドーを押して、出力レベルの設定に切り換える

5 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節します。

レベルを大きくするとき：右に回す

レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、-24 ~ +6 の範囲で調節できます。

6 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

低い音を強調する

Bass Booster

低音域を強調させることができます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、Bass Boosterにする

(→「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

Bass Booster を選びます。

3 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節します。

レベルを大きくするとき：右に回す

レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、0 ~ 6 の範囲で調節できます。

4 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- サブウーファー設定の ON / OFF によって、ブーストされる音域は、次の周波数以下になります。
サブウーファー設定が ON の場合：
サブウーファーのカットオフ周波数に連動
サブウーファー設定が OFF の場合：
100 Hz 固定

低い音を出力しないようにする

HPF

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にすることができます。



ハイパスフィルター (HPF) とは

- ハイパスフィルター (HPF) は、設定した周波数 (カットオフ周波数) から下の音域 (低音域) をカットして、高音域を通すフィルターです。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも下の周波数 (もしくは上の周波数) の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、HPFにする

(⇒「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

ハイパスフィルターが ON になります。もう一度押すと、OFF になります。

3 ロータリーコマンドーを回す

カットオフ周波数を選びます。
高い周波数を選ぶとき：右に回す
低い周波数を選ぶとき：左に回す
カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hzの中から選べます。

4 BAND/🔊 ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

各ソースの音量をそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLA とは

- SLA は、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。



ご注意

- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SLAにする

(⇒「オーディオ調整メニューの切り換えかた」40 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

SLA を選びます。

3 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節します。

レベルを大きくするとき：右に回す

レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。



メモ

- AM、CD、USB、iPod、AUX（外部機器）の音量差を調節することができます。なお、AUX、AM、交通情報は同じ設定になります。

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調整」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源を OFF にした状態で操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 SRC/OFFボタンを長く押して、本機の電源をOFFにする

2 ロータリーコマンダーを長く押して、初期設定メニューに切り換える

初期設定メニューに切り換わると、「カレンダー設定」と表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回す

ロータリーコマンダーを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

- カレンダー設定 (→「日付を合わせる」このページ)
- ↓
- 時計調整 (→「時計を合わせる」48ページ)
- ↓
- 経過時間アラート設定 (→「本機の使用時間を知らせる」48ページ)
- ↓
- USB plug&play 設定 (→「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」48ページ)
- ↓
- デタッチワーニング設定 (→「フロントパネルの外し忘れを警告する」49ページ)
- ↓
- 外部機器設定 (→「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」49ページ)
- ↓

ディマー設定 (→「夜間のディスプレイの明るさを切り換える」50ページ)

↓
コントラスト調整 (→「ディスプレイのコントラストを調節する」50ページ)



↓
S/W コントロール (→「リアスピーカー出力を設定する」51ページ)

↓
ミュート設定 (→「ミュート/アッテネートを切り換える」51ページ)

↓
デモ設定 (→「フィーチャーデモを ON / OFF する」52ページ)

↓
連続スクロール設定 (→「スクロールの設定を切り換える」52ページ)

メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND/  ボタンを押します。(初期設定メニューを解除すると、電源が OFF になります。)
- ひとつ前の画面に戻るには  /DISP ボタンを押します。

初期設定

日付を合わせる

カレンダー設定

本機のディスプレイに表示する日付を合わせます。

1 カレンダー設定にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」)

2 日付の設定をする

- 年、月、日を選ぶとき
ロータリーコマンダーを押します。
- 日付を合わせるとき
ロータリーコマンダーを回します。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

時計を合わせる

時計調整

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1 時計調整にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47ページ)

2 時計を調整する

■ 時または分を選ぶとき
ロータリーコマンドを押します。

■ 時刻を合わせるとき
ロータリーコマンドを回します。
分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

本機の使用時間を知らせる

経過時間アラート設定

車のエンジン、または ACC が ON になってからの時間を計測し、設定した時間ごとに使用時間を表示と音で知らせます。

1 経過時間アラート設定にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

経過時間アラート設定を選びます。

3 ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で設定時間が切り換わりません。

OFF — 15分 — 30分

4 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する

USBplug&play

本機能の設定により、USB/iPod ソースの切り換えかたが変わります。

- ON : USB/iPod を接続すると、USB/iPod ソースに切り換わります。取り外すと、電源 OFF になります。
- OFF : USB/iPod を接続しても、USB/iPod ソースに自動では切り換わりません。USB/iPod ソースには手動で切り換えてください。

1 USBplug&play 設定にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

USB/iPod 自動切り換え設定が ON になります。

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

フロントパネルの外し忘れを警告する

デタッチワーニング設定

デタッチワーニングは、車を離れるときに、フロントパネルの外し忘れを警告ブザーで知らせる機能です。

フロントパネルを取り外すには (➡「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ)。

🔊 デタッチワーニングについて

- イグニッションスイッチを OFF にしたときに、フロントパネルを外し忘れていたら、約 4 秒後に警告ブザーが鳴り、フロントパネルの外し忘れを知らせてくれます。

1 デタッチワーニング設定にする

(➡「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ローターリーコマンダーを押す

デタッチワーニング設定が ON になります。

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

外部機器設定

本機にポータブル音楽再生機器や VTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

🔊 外部機器を接続するには

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 φステレオミニジャックを差し込みます。

1 外部機器設定にする

(➡「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ローターリーコマンダーを押す

外部機器設定が ON になります。
もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

📝 メモ

- AUX は、初期設定が ON になっています。AUX を使用しない場合は、OFF にします。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー設定

車のライトを ON にすると、ディスプレイが暗くなるように設定できます。夜間にディスプレイがまぶしく感じられる場合、ディマー設定を ON にすると便利です。



ご注意

- コントラスト調整 (→「ディスプレイのコントラストを調節する」このページ) の設定を「0」にしているときは、ディマー設定を ON にしても、効果はありません。

1 ディマー設定にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

ディマー設定が ON になります。もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔑 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

ディスプレイのコントラストを調節する

コントラスト調整

1 コントラスト調整にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

コントラスト調整を選びます。

3 ロータリーコマンドを回す

ディスプレイのコントラストを調節します。

コントラストは 0 ~ 15 の範囲で調節できます。

4 BAND/🔑 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

リアスピーカー出力を設定する

S/W コントロール

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選びます。

- ①フルレンジスピーカーを接続するとき：
「Rear SP:F.Range」に設定します
- ②サブウーファーを接続するとき：
「Rear SP:S/W」に設定します

ご注意

- リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:S/W」に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。

1 S/W コントロールにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

出力設定が、S/W (サブウーファー) に切り換わります。

もう一度押すと、F.Range (フルレンジ) に切り換わります。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

ミュート / アッテネートを切り換える

ミュート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートにするかを選べます。

ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- TEL mute：音量「0」
 - TEL ATT：元の音量の約 1/10
- ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

1 ミュート設定にする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

ミュート設定が、TEL ATT (アッテネート) に切り換わります。

もう一度押すと、TEL mute (ミュート) に切り換わります。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

フィーチャーデモを ON / OFF する

デモ設定



フィーチャーデモとは

- フィーチャーデモは、本機の電源が OFF のときや、約 30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能（ファンクションやエンタテインメントなど）の画面を表示して紹介する機能です。

1 デモ設定にする

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す


デモ設定が OFF になります。
もう一度押すと、ON になります。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。



知っていると便利

- フィーチャーデモは、/DISP ボタンを長く押すことでも ON / OFF できます。

スクロールの設定を切り換える

連続スクロール設定

連続スクロール設定を ON にすると、CD のタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能を OFF にします。

1 連続スクロール設定にする

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」47 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

連続スクロール設定が ON になります。
もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、本機の電源が OFF になります。

瞬時に音を消す

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。

1 MUTE ボタンを押す

瞬時に音が消えます。
もう一度押すと、解除されます。

カレンダーを表示する

以下の設定のとき、本機のディスプレイにカレンダーを表示できます。

■ 本機の電源が OFF の場合に、時計表示にしたとき

(→ 「経過時間／時計を表示する」このページ)

■ エンタテインメントメニューの背景画面設定で、カレンダーを選んだとき

(→ 「背景画面を設定する」55 ページ)

メモ

- 日付を合わせるには、(→ 「日付を合わせる」47 ページ)。

経過時間／時計を表示する

本機のディスプレイに経過時間や時計を表示できます。

時計や経過時間は、本機の電源が ON のとき、または電源が OFF でフィーチャーデモを OFF にしているときに表示されます。

1 TI/CLOCK ボタンを長く押す

長く押すたびに次の順序で切り換わります。



メモ

- 時計を合わせるには、(→ 「時計を合わせる」48 ページ)。

ご注意

- 3 行のタイトル表示をしているときは、時計表示の切り換えはできません。

交通情報を受信する

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも操作できます。

1 TI/CLOCK ボタンを押す

交通情報を受信します。

もう一度 TI/CLOCK ボタンを押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 レバーを回す

交通情報の周波数を選びます。

1 629 kHz を選ぶとき：右に回す

1 620 kHz を選ぶとき：左に回す

知っている则便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

MIXTRAX機能をON / OFF する

MIXTRAX とは、さまざまな効果音を加えて、曲間をアレンジする技術です。ノンストップで音楽を楽しむことができます。また、ボタンと画面の色も自動で変更されます。

1 MIXTRAX ボタンを押す

MIXTRAX が ON になります。
もう一度押すと、OFF になります。



ご注意

- 本機能を ON にすると、エンタテインメントメニューおよびイルミネーションメニューの設定値が以下のように切り換わります。
ーエンタテインメントメニュー：MIXTRAX
ーイルミネーションメニュー：Flashing color
これらは、再生する曲によって背景画面やディスプレイ・ボタンの色が自動的に変化する設定値のため、運転の妨げとなるような場合には設定を OFF にしてください（➡「音楽に合わせて背景画面を自動で切り換える」このページ、「音楽に合わせてボタンとディスプレイの色を切り換える」56 ページ）。



メモ

- USB、SD、iPod の曲が対象となります。ただし、iPod の Audiobook や Podcast は、効果音を加えて曲間をアレンジする機能に対応していません。
- iPod APP モードには対応していません（➡「iPod で選曲して本機から再生する」36 ページ）。
- 曲を切り換えるときも自動で音声が変わり、無音状態がなくなります。

エンタテインメントメニューの切り換えかた

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をさまざまなエンタテインメント表示から選べます。

1 ロータリーコマンドーを押す

メインメニューが表示されます。

2 ロータリーコマンドーを回して ENTERTAINMENT を選び、ロータリーコマンドーを押す



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/🔊 ボタン、または 🔄/DISP ボタンを押します。（約 30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）

3 ロータリーコマンドーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。



音楽に合わせて背景画面を自動で切り換える

MIXTRAX

ディスプレイに表示される背景画面を、再生する曲に合わせて切り換えることができます。



メモ

- この機能は MIXTRAX 機能を ON に設定したときだけ操作できます（➡「MIXTRAX 機能を ON / OFF する」このページ）。
- Flashing Color が OFF のときは、設定できません（➡「音楽に合わせてボタンとディスプレイの色を切り換える」56 ページ）。その場合は、背景画面設定で選んだ画面が表示されます（➡「背景画面を設定する」55 ページ）。

1 ローターコマンドーを操作して、MIXTRAXに切り換える

(⇒「エンタテインメントメニューの切り換えかた」54 ページ)

2 ローターコマンドーを押し、MIXTRAXを選ぶ

3 ローターコマンドーを回して、設定を切り換える

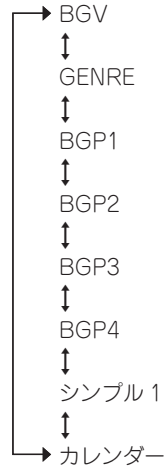
MIXTRAX (再生中の曲に連動して背景画面を表示)

↓
OFF (背景画面設定で選択された画像を表示)

メモ

- Flashing Color で、Sound Level Mode の色を選んだとき、Low Pass Mode の色を選んだときでは、切り換わる背景画面が異なります (⇒「音楽に合わせてボタンとディスプレイの色を切り換える」56 ページ)。

3 ローターコマンドーを回して、設定を切り換える



4 ローターコマンドーを押す

選んだエンタテインメント表示が設定され、エンタテインメントメニューが解除されます。

？ BGV とは

- BGV は、「Background Visual (バックグラウンドビジュアル)」の略です。

？ GENRE とは

- GENRE は、iTunes でエンコードしたファイルを再生している時に、再生中の曲のジャンルに応じて、背景の画像を切り換える機能です。対応しているジャンルは次のとおりです。

- ・Rock (Rock, Alternative, ロック, オルタナティブなど)
- ・Pop (Pop, J-Pop, ポップなど)
- ・Jazz (Jazz, ジャズなど)
- ・Dance (Dance, ダンス, Electronic, Electronica/Dance など)
- ・R&B (R&B, Soul, ソウルなど)
- ・Hip-Hop (Hip-Hop, Rap, ヒップホップ, ラップ, Hip Hop など)

ただし、iTunes でエンコードした WAV ファイルを再生している場合は、GENRE は正しく動作しません。

- オーディオファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、GENRE が正しく動作しないことがあります。

？ BGP とは

- BGP は、「Background Picture (バックグラウンドピクチャー)」の略です。

背景画面を設定する

背景画面設定

1 ローターコマンドーを操作して、背景画面設定に切り換える

(⇒「エンタテインメントメニューの切り換えかた」54 ページ)

2 ローターコマンドーを押し、背景画面設定を選ぶ

時計表示を切り換える

時計表示

1 ロータリーコマンダーを操作して、時計表示に切り換える

(⇒「エンタテインメントメニューの切り換えかた」54 ページ)

2 ロータリーコマンダーを回して、時計表示を選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、設定を切り換える



イルミネーションメニューの切り換えかた

本機に設定したい色を、イルミネーションメニューで選びます。

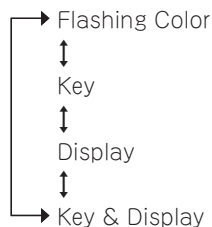
1 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

2 ロータリーコマンダーを回して、ILLUMIを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、イルミネーションメニューを表示する

4 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。



音楽に合わせてボタンとディスプレイの色を切り換える

Flashing Color

再生する曲に合わせて光るイルミネーションのパターンを選びます。

メモ

- この機能は MIXTRAX 機能を ON に設定したときだけ操作できます (⇒「MIXTRAX 機能を ON / OFF する」54 ページ)。

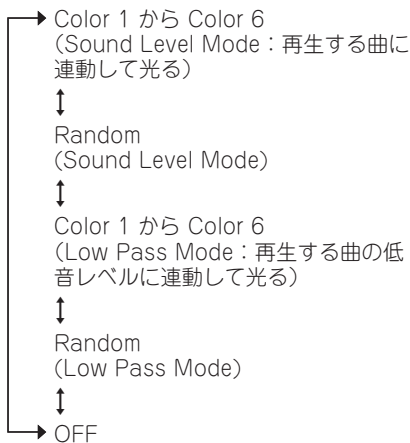
1 ロータリーコマンダーを操作して、Flashing Color に切り換える

(⇒「イルミネーションメニューの切り換えかた」このページ)

2 ロータリーコマンダーを押して、Flashing Color を選ぶ

3 ロータリーコマンダーを回して、設定を切り換える

次の順序で切り換わります。



4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- OFF を選んだ場合、他のイルミネーションメニューで設定したボタンとディスプレイの色が表示されます。また、MIXTRAX 機能がON のときに、ボタンもしくはディスプレイの色を変えた場合、OFF に自動で切り換わります (⇒「ボタンの色を選ぶ」このページ、「ディスプレイの色を選ぶ」58 ページ、「ボタンとディスプレイの色を選ぶ」58 ページ、「ボタンとディスプレイの色を調節する」59 ページ)。

ボタンの色を選ぶ

Key

本機のボタンに設定したい色を選びます。

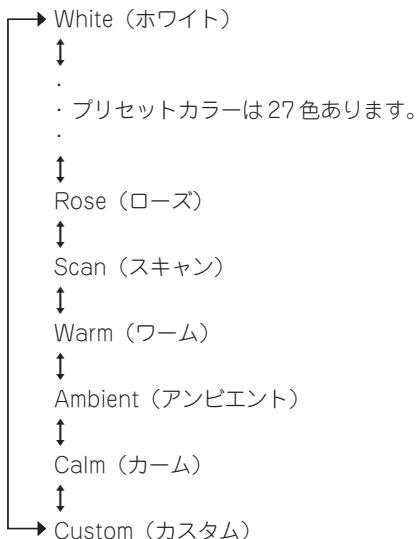
1 ローターリーコマンドーを操作して、Key に切り換える

(⇒「イルミネーションメニューの切り換えかた」56 ページ)

2 ローターリーコマンドーを押し、色を表示する

3 ローターリーコマンドーを回して、色を切り換える

次の順序で切り換わります。



メモ

- プリセットカラーを選択時にロータリーコマンドーを長く押し、その色を調節することができます。

4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- Scan (スキャン) は、すべてのプリセットカラーを自動で切り換えます。
- Warm (ワーム) は、プリセットカラーの中から暖色系の色が表示され、自動で切り換わります。
- Ambient (アンビエント) は、プリセットカラーの中から穏やかな色が表示され、自動で切り換わります。
- Calm (カーム) は、プリセットカラーの中から寒色系の色が表示され、自動で切り換わります。
- Custom (カスタム) は、調節したボタンとディスプレイの色で表示します (⇒「ボタンとディスプレイの色を調節する」59 ページ)。

ディスプレイの色を選ぶ

Display

本機のディスプレイに設定したい色を選びます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、Displayに切り換える

(→「イルミネーションメニューの切り換えかた」56ページ)

2 ロータリーコマンドーを押して、色を表示する

3 ロータリーコマンドーを回して、色を切り換える

選択する色については、(→「ボタンの色を選ぶ」57ページ)。

4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- プリセットカラーの選択時にロータリーコマンドーを長く押しすと、その色を調節することができます。

ボタンとディスプレイの色を選ぶ

Key & Display

本機のボタンとディスプレイに設定したい色を選びます。

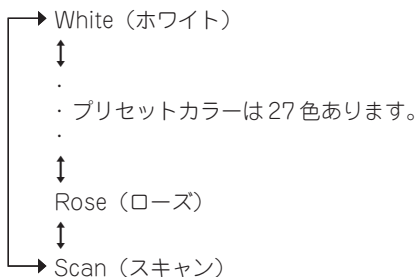
1 ロータリーコマンドーを操作して、Key & Displayに切り換える

(→「イルミネーションメニューの切り換えかた」56ページ)

2 ロータリーコマンドーを押して、色を表示する

3 ロータリーコマンドーを回して、色を切り換える

次の順序で切り換わります。



4 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- Scan (スキャン) は、すべてのプリセットカラーを自動で切り換えます。

ボタンとディスプレイの色を調節する

本機のボタンとディスプレイに設定する色を、お好みに合わせて調節します。

1 ロータリーコマンダーを操作して、KeyもしくはDisplayに切り換える

(⇒「イルミネーションメニューの切り換えかた」56 ページ)

2 ロータリーコマンダーを押して、KeyもしくはDisplayを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを回して、プリセットカラーかCustomを選ぶ

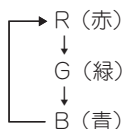
メモ

●Scan、Warm、Ambient、Calm のいずれかを選んでいるときは、ボタンとディスプレイの色の調節はできません。

4 ロータリーコマンダーを長く押して、色の調節をはじめめる

5 ロータリーコマンダーを押して、R・G・Bから色を選ぶ

押すたびに次の順序で切り換わります。



6 ロータリーコマンダーを回して、明るさを調節する

レベルを大きくするとき：右に回す

レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、0～60の範囲で調節できます。

メモ

- 他の色も同じ操作で調節できます。
- R (赤)、G (緑) および B (青) を同時に 20 未満のレベルにすることはできません。

7 BAND/ ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります。

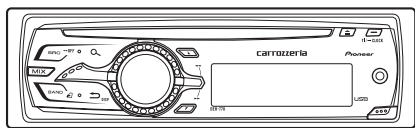
●接続・取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

●本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



●コード関係

電源コード × 1



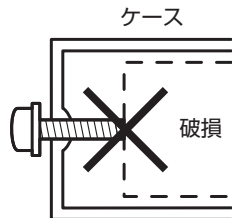
USB 接続ケーブル × 1



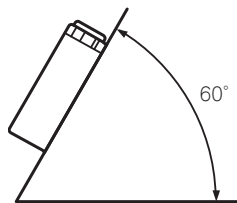
取り付けの前に知ってほしいこと

●取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。



●取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

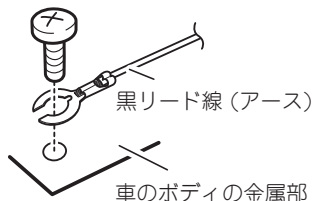
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

●接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

●接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

●コネクター着脱のポイント

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

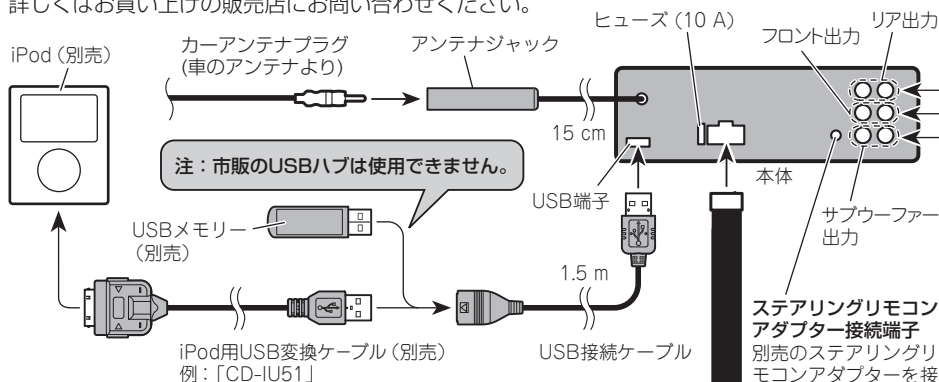
●バッテリー交換時のご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリー（⇒「放送局を1局ずつ登録する」29ページ）や時計調節（⇒「時計を合わせる」48ページ）を再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

接続する

本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。) 組み合わせた別売製品に黄/黒リード線 (ミュート用またはセルラームュート用) がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 下記車両については未接続の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

- オートアンテナ車の場合：
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

イルミ電源

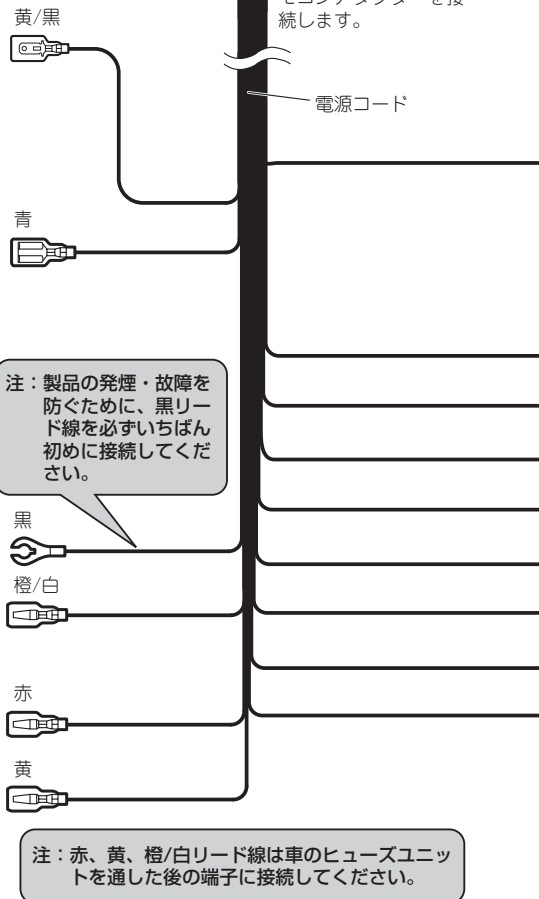
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。

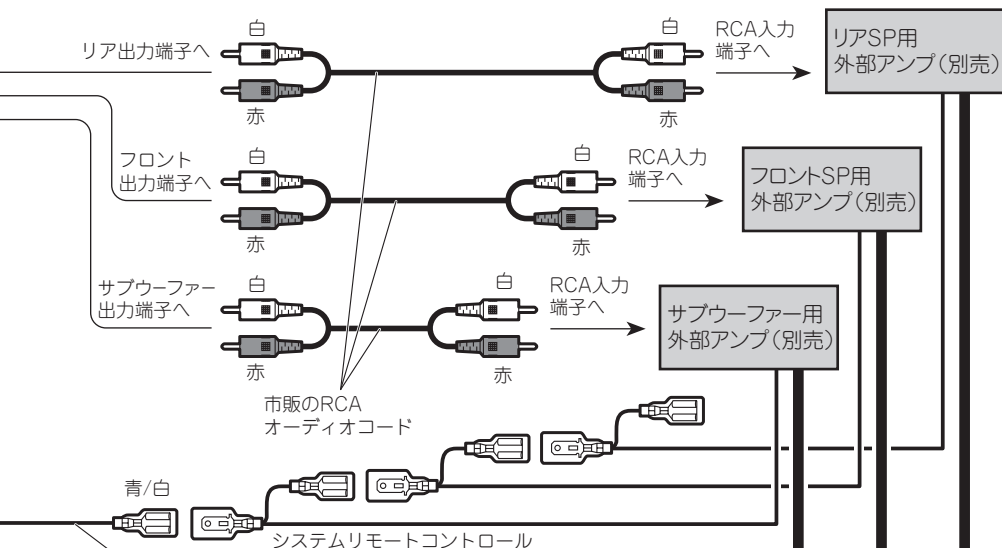
アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

+バッテリー電源

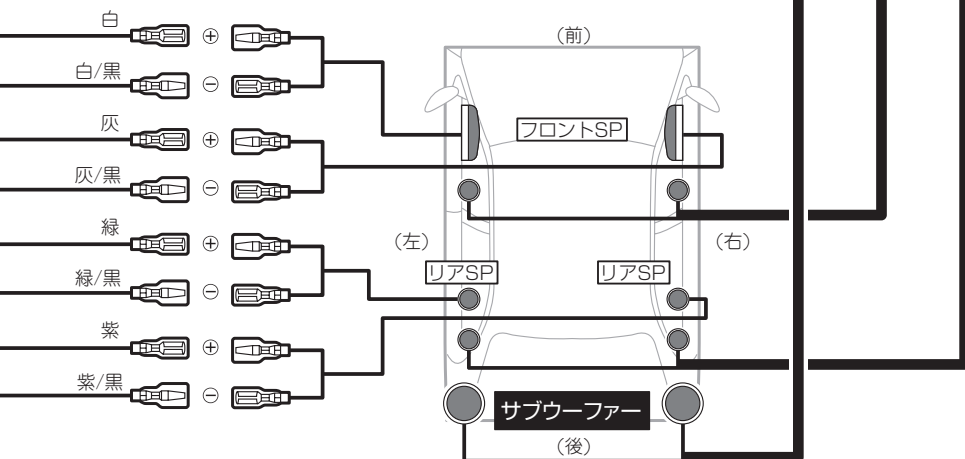
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。





システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
 (本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
 外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
 (12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)



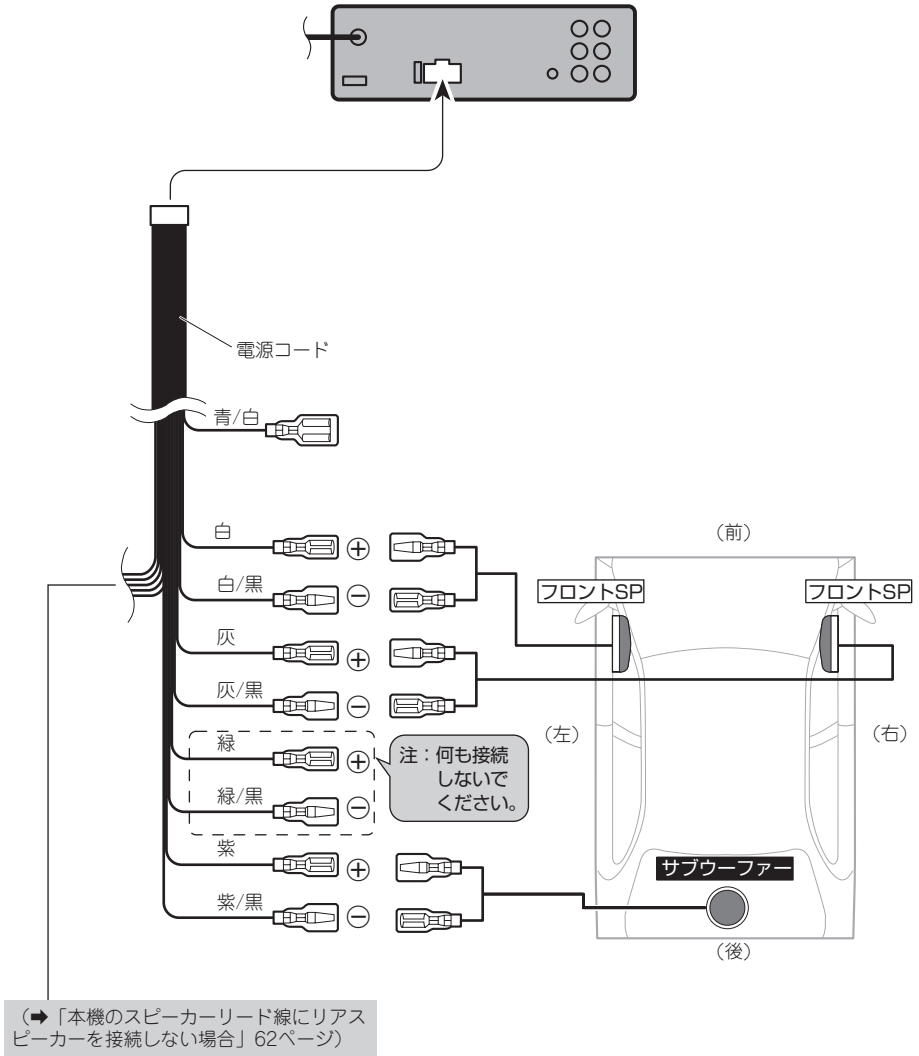
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

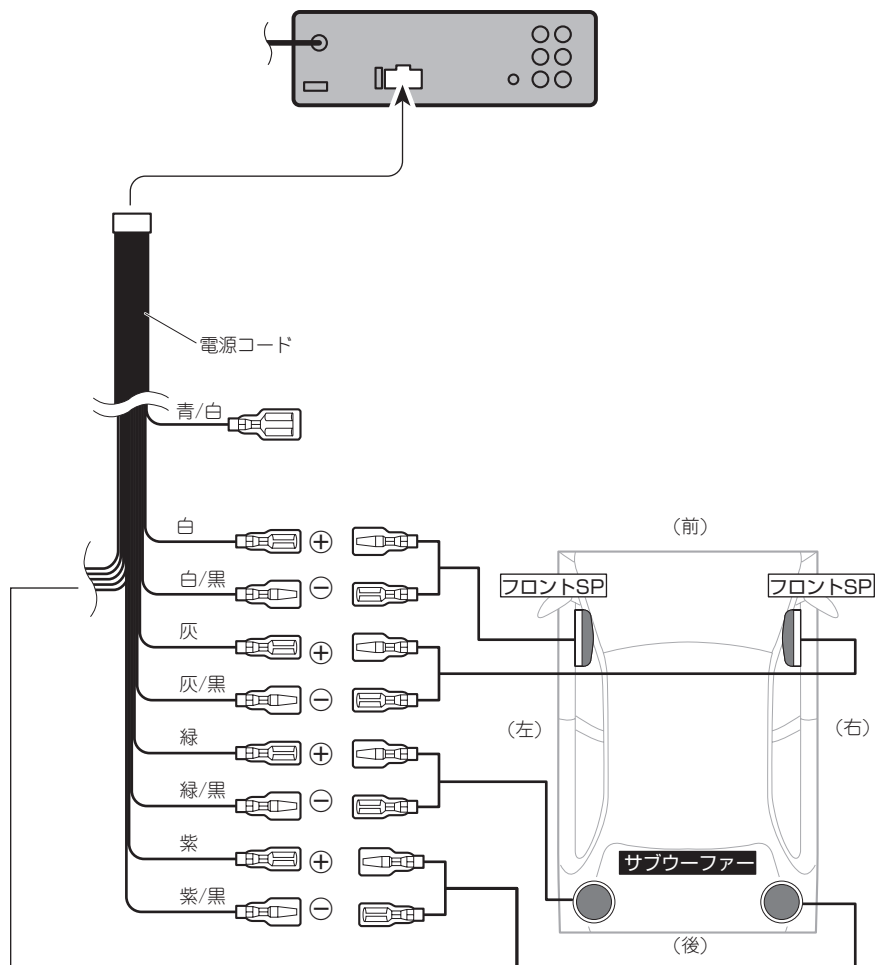
接続・取り付けと動作確認



最大出力 50 W × 1ch/4 Ω

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



(→「本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続しない場合」62ページ)

接続・取り付けと動作確認

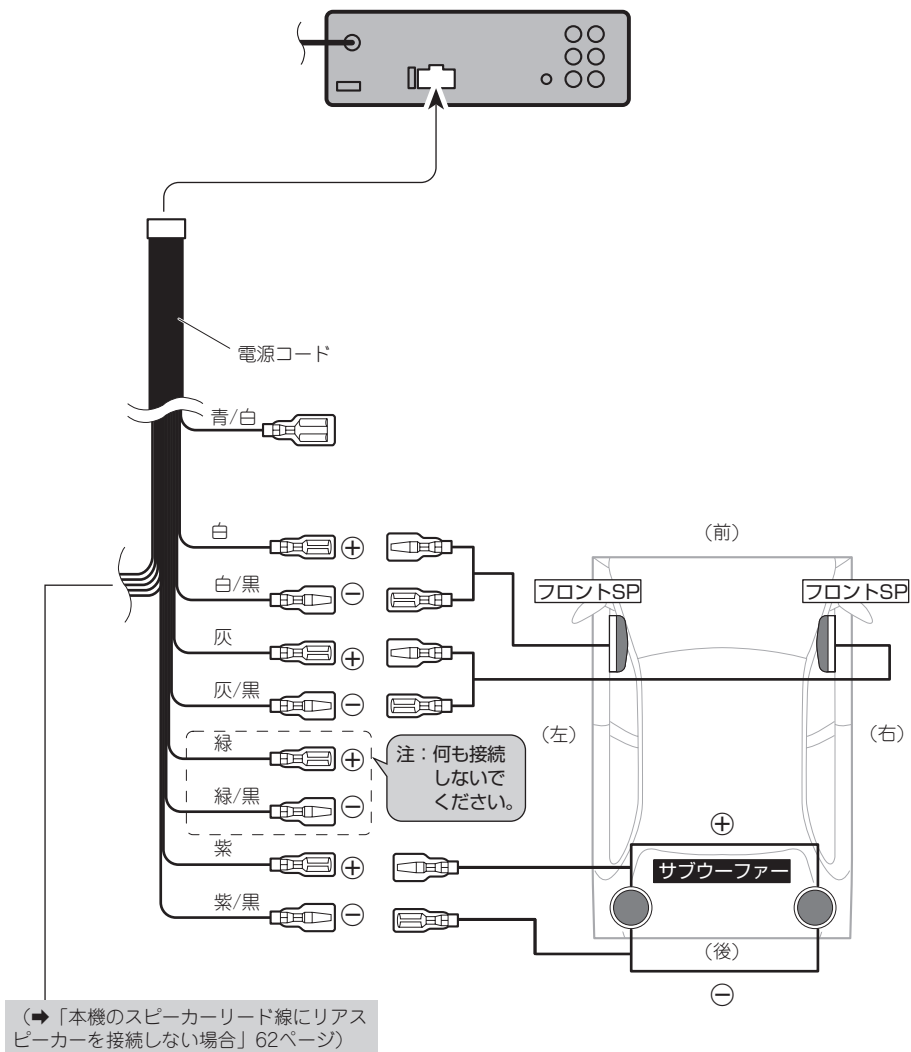
最大出力 50 W × 2ch/4 Ω

次のページに続く

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続・取り付けと動作確認



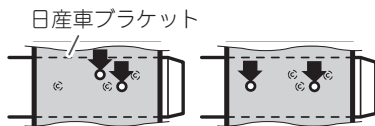
ここでは、サブウーファー (4Ω) を並列に接続してサブウーファー (2Ω) として使用しています。

最大出力 70 W × 1ch/2 Ω

本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

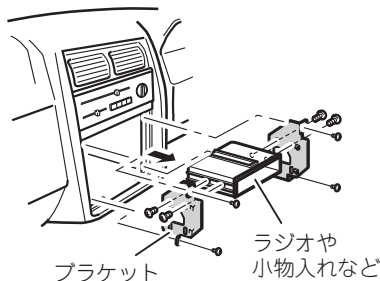
■日産車の場合



1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

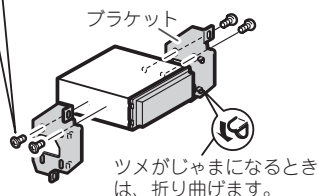
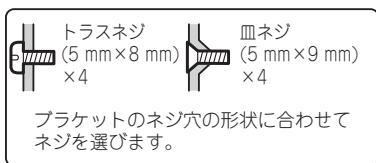
ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



📌 ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

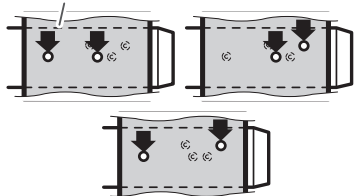
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。操作方法は（➡「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」14 ページ）。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください (➡「初めて本体を使用する際の設定」12 ページ)。

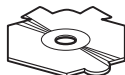
CD の正しい使いかた

●使用できる CD について

- 次のマークが付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのある CD は使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録した CD-R / CD-RW ディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R / CD-RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R / CD-RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていない CD-R / CD-RW ディスクには対応していません。
- CD-R / CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

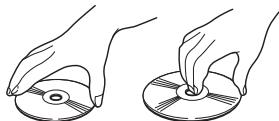
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

●「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

●取り扱い上のご注意

- CD は、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



- CD にキズを付けないでください。
- CD にシールなどを貼らないでください。

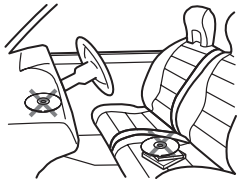


- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

次のページに続く

●保管上のご注意

- ・直射日光の当たるところや高温になるところは、CD を保管しないでください。



- ・CD がぞらないように、必ずケースに入れて保管してください。

●お手入れについて

- ・CD が汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- ・アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



●CD 再生の環境について

- ・走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- ・寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。



メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルについて

●WMA とは？

- ・「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

●再生できる WMA ファイルについて



ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。

- ・再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz ~ 48 kHz です。
- ・WMA ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) で 48 kbps ~ 320 kbps、VBR (可変ビットレート) で 48 kbps ~ 384 kbps の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高いビットレートで記録することをおすすめします。
- ・デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは、再生がスキップされます。「TRK SKIPPED」と表示されます。
- ・ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている場合、そのディスクは再生できません。「PROTECT」と表示されます。

- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - － Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - － Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - － Windows Media Audio Voice

●MP3 とは？

- 「MPEG Audio Layer-3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

●再生できる MP3 ファイルについて

ご注意

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けなくても構いません。
- ID3 tag の Ver. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。なお、再生可能なサンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHz です。
- MP3 ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) では 8 kbps ~ 320 kbps の MP3 ファイルの再生に対応しています。また、本機は VBR (可変ビットレート) で記録されたディスクの再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、128 kbps 以上のビットレートで記録することをおすすめします。

●AAC とは？

- 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

●再生できる AAC ファイルについて

ご注意

- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けなくても構いません。
- 本機で画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は、11.025 kHz ~ 48 kHz です。
- AAC ファイルは一般的に、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、16 kbps ~ 320 kbps のステレオビットレートで記録された AAC ファイルの再生に対応しています。また、本機は VBR (可変ビットレート) で記録されたディスクの再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高いステレオビットレートで記録することをおすすめします。
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、CD-R / CD-RW または USB 機器に記録して再生できません。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - － Apple ロスレス・エンコーダ

●WAV とは？

- 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

●再生できる WAV ファイルについて

ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。

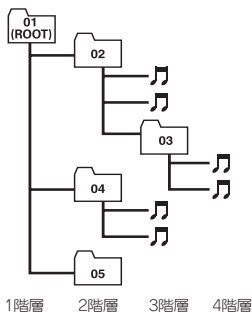
次のページに続く

- 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けないでください。
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ~ 48kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ~ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- WAV ファイルは一般的に、量子化ビット数が高いほど音質が良くなります。本機は、LPCM 形式で 8 bit または 16 bit、MS ADPCM 形式で 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を指定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがない CD を、WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルとして CD-R / CD-RW / CD-ROM に記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R / CD-RW / CD-EXTRA / MIXED-MODE CD ディスクに WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換えて再生できます (▶「CD のふだんの操作」18 ページ)。この場合、再生は先頭の曲から始まります。
- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスクの作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- 再生できるファイルの合計は、最大 999 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 99 フォルダーです。

ディスク内のフォルダーについて

- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを収録した CD-R / CD-RW / CD-ROM のフォルダー構造は次の図のようになります。



- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルが記録された CD-R / CD-RW / CD-ROM の再生に対応しています。ISO9660 のレベル 1 / レベル 2 / 拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

USB 機器について

- USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB Mass Storage Class 対応の USB メモリーに収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。



ご注意

- USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 接続ケーブルを使用してください。付属の USB 接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB ハブを使用している接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。

- SD カードの挿入口には、SD カード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 本機と組み合わせて使用しているときに SD カードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。
- 誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、取り出した SD カードは、お子様の手が届かないところに保管してください。
- SD カードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識している SD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SD カードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをすると SD 非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SD カードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ず SD カードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SD カードのフォーマットソフトウェアは、SD アソシエーションの以下ホームページより入手できます。

<http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/>

(2011年9月時点転載)

- フォーマット作業による SD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

SD カードについて



ご注意

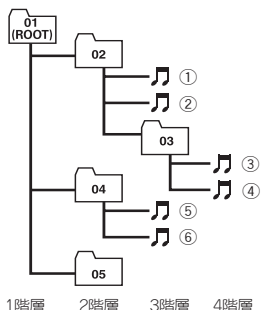
- 本機はすべての SD カードの動作を保証するものではありません。
- SD カードの出し入れを無理に行うと、本機や SD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。

● 本機が対応する SD カード

- 本機は以下の SD カードに対応しています。
 - － SD カード*
 - － SDHC カード*
 - － Mini SD カード、Micro SD カード* (市販されている専用のアダプターが必要です)

USB 機器 / SD カード 内のフォルダーについて

- USB メモリー / SD カード内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリー / SD カードにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位で USB メモリー / SD カードにコピーする。ただしパソコンの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。
- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 1500 フォルダーです。
- 8 階層までの WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの再生に対応しています。
- USB 機器 / SD カードのフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。

- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

iPod について

●本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。
Made for
 - 第 4 世代 iPod touch : Ver. 4.1
 - 第 3 世代 iPod touch : Ver. 3.1.1
 - 第 2 世代 iPod touch : Ver. 2.1.1
 - 第 1 世代 iPod touch : Ver. 1.1
 - iPod classic 160GB : Ver. 2.0.2
 - iPod classic 120GB : Ver. 2.0
 - iPod classic : Ver. 1.0
 - 第 5 世代 iPod : Ver. 1.2.3
 - 第 6 世代 iPod nano : Ver. 1.0
 - 第 5 世代 iPod nano : Ver. 1.0.1
 - 第 4 世代 iPod nano : Ver. 1.0
 - 第 3 世代 iPod nano : Ver. 1.0
 - 第 2 世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
 - 第 1 世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
 - iPhone 4 : Ver. 4.1
 - iPhone 3GS : Ver. 3.0.0
 - iPhone 3G : Ver. 2.0
 - iPhone : Ver. 1.1.1
- 最新の情報についてはカロッツェリア ホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。
- 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

- iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル（例:CD-IU51）が必要です。



ご注意

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

● iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ の設定を自動的に「オフ」にします。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続してコントロールモードを AUDIO にした場合、iPod のリピートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と 思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェッ
クしてください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」をお読みになり、修
理を依頼してください。

●共通項目

症 状	原 因	処 置
電源を OFF にしても画面表示が消えない。 意図せずに画面表示が切り換わる。	フィーチャーデモが ON になっている。	フィーチャーデモを解除してください (➡「デモモードについて」13 ページ、「フィーチャーデモを ON/OFF する」52 ページ)。
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1 分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものとの交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を調節してください (➡「基本的な操作」17 ページ)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (➡「前後左右の音量バランスを調節する」41 ページ)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (➡「前後左右の音量バランスを調節する」41 ページ)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (➡「前後左右の音量バランスを調節する」41 ページ)。
ディスプレイの表示がおかしい。	背景画面が設定されている。	お好みの表示を選んでください (➡「音楽に合わせて背景画面を自動で切り換える」54 ページ、「背景画面を設定する」55 ページ)。
エンジンを切ったら警告音 (ブザー) が鳴る。	デタッチワーニングが ON になっている。	フロントパネルを取り外してください。フロントパネルを取り外さない場合は、デタッチワーニングを OFF にしてください (➡「フロントパネルの外し忘れを警告する」49 ページ)。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

●ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください (➡「ラジオのふだんの操作」19 ページ)。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください (➡「ラジオのふだんの操作」19 ページ)。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。

症状	原因	処置
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください (➡「ラジオのふだんの操作」19 ページ)。
FM は受信するが、AM が受信できない。 受信感が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。 自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください (➡「接続する」62 ページ)。 アンテナを十分に伸ばしてください。

●CD、WMA / MP3 / AAC / WAV

症状	原因	処置
	CD に大きなキズやそりがある。	CD を交換してください。 良くなれば、CD の不良です。
CD 再生中、大きな雑音が出る。 CD の再生が途中で止まる。 CD が自動的に出てくる。	CD が極端に汚れている。	CD の汚れをふき取ってください (➡「CD の正しい使いかた」69 ページ)。
	CD に曇りや汚れがついている。	CD の曇りや汚れをふき取ってください (➡「CD の正しい使いかた」69 ページ)。
	CD の裏表を逆にしてセットしている。	CD のタイトル面を上にしてセットしてください。

●AUX

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器 (AUX) の音量を下けている。 抵抗入り AUX ケーブルを使用して接続している。	外部機器 (AUX) の音量を調節してください。 抵抗なし AUX ケーブルを使用して接続してください。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

●CD、WMA / MP3 / AAC / WAV のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-07、11、12、17、30」	CD が汚れているとき。 CD にキズやひびがあるとき。	CD の汚れをふき取ってください。 CD を交換してください。
「ERROR-15」	CD-R / CD-RW を録音しないまま使用している。	CD-R / CD-RW は、録音してからお使いください。
「ERROR-10、11、12、15、17、30、A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、CD 再生を一度やめてから、もう一度 CD 再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットの CD-ROM を挿入した。	CD を交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていない CD-ROM を挿入した。	WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの記録されている CD-ROM と交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている。	CD を交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権管理 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生した。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

次のページに続く

●USBのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USB コネクタまたは USB ケーブルがショートした。	USB コネクタ／USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定 (➡「おまな仕様」82 ページ) 以上の電流を消費する USB 機器を接続した。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
「NOT COMPATIBLE」	接続された USB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応の USB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
「PROTECT」	USB 機器内のすべてのファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9 / 10 で保護された WMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON する。／接続した USB 機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 /FAT16/FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、または FAT12 の USB 機器を接続してください。
「NO DEVICE」	USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、USB 機器が接続されていない。	USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください (➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」48 ページ)。
		対応する USB 機器を接続してください。

●SD カードのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-23」	挿入された SD カードのフォーマットが、FAT32 /FAT16/FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、または FAT12 の SD カードを挿入してください。

● iPod のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	iPod は動作するが、充電されない。	iPod ケーブルがショートしていないか (たとえば、金属物にはさまれていないか) 確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、iPod を一度脱着してください。
「NOT COMPATIBLE」	接続された iPod が本機に対応していない。	本機に対応した iPod を使用してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPod に問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「ERROR-16」	iPod ソフトウェアのバージョンが古い。 iPod に問題が発生した。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。 iPod に曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。 iPod に曲を転送してください。
「NO DEVICE」	USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、USB 機器または iPod が接続されていない。	USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください (➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」48 ページ)。 対応する iPod を接続してください。

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- ・ 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

● iPod & iPhone

Made for



iPod



iPhone

iPod, iPod classic, iPod nano, および iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

● SD

SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



おもな仕様

●共通部

使用電源：	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
最大消費電流：	10.0 A
外形寸法	(取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 18 (D) mm
質量：	1.2 kg (コード含まず)

●アンプ／オーディオ部

最大出力：	50 W × 4 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω (for サブウーファー)
定格出力：	22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD, 4 Ω load, Both Channels Driven)
負荷インピーダンス：	4 Ω ~ 8 Ω × 4 4 Ω ~ 8 Ω × 2 + 2 Ω × 1
プリアウト最大出力レベル：	4 V
出カインピーダンス：	1 kΩ
イコライザー (5 バンドグラフィックイコライザー)	

周波数：100 Hz / 315 Hz / 1.25 kHz / 3.15 kHz / 8 kHz
調整幅：± 12 dB (2 dB step)

ラウドネスコンター

(LOW) :	3.5 dB (100 Hz) 3 dB (10 kHz)
(MID) :	10 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz)
(HIGH) :	11 dB (100 Hz) 11 dB (10 kHz) (ボリューム：- 30 dB)

ハイパスフィルター

周波数：50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：- 12 dB / oct

サブウーファー出力

周波数：50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：- 18 dB / oct
調整幅：+ 6 dB ~ - 24 dB
位相：NORMAL / REVERSE

バスブースター

調整幅：+ 12 dB ~ 0 dB

●CD プレーヤー部

形式：	コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク：	コンパクトディスク
信号フォーマット	

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化ビット数：16 ビット直線

周波数特性：	5 Hz ~ 20 000 Hz (± 1 dB)
S/N 比：	94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ：	92 dB (1 kHz)
チャンネル数：	2 (ステレオ)

MP3 デコーディングフォーマット： MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット： Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11, 12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)
AAC デコーディングフォーマット： MPEG-4 AAC (Ver. 9.2 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)
WAV シグナルフォーマット： Linear-PCM, MS ADPCM

●USB 部

USB 規格： USB 2.0 Full Speed
最大供給電流： 1 A
USB クラス： マスストレージクラス
ファイルシステム： FAT12, FAT16, FAT32
MP3 デコーディングフォーマット： MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット： Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11, 12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)
AAC デコーディングフォーマット： MPEG-4 AAC (Ver. 9.2 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)
WAV シグナルフォーマット： Linear-PCM, MS ADPCM

●SD 部

フォーマット： Ver.2.00
最大メモリ容量： 32 GB
ファイルシステム： FAT12, FAT16, FAT32
MP3 デコーディングフォーマット： MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット： Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11, 12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)
AAC デコーディングフォーマット： MPEG-4 AAC (Ver. 9.2 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)
WAV シグナルフォーマット： Linear-PCM, MS ADPCM

●FM チューナー部

受信周波数帯域： 76.0 MHz ~ 90.0 MHz
実用感度： 9 dBf (0.8 μ V/75 Ω , モノラル, S/N : 30 dB)
S/N : 72 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率： 0.3 % (65 dBf 入力, 1 kHz, ステレオ)
0.1 % (65 dBf 入力, 1 kHz, モノラル)
周波数特性： 30 Hz ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオセパレーション： 45 dB (65 dBf 入力, 1 kHz)

●AM チューナー部

受信周波数帯域： 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度： 25 μ V (S/N : 20 dB)
S/N : 62 dB (IHF-A ネットワーク)



●付属品

コードユニット： 1 式
取付ネジ類： 1 式
取扱説明書： 1
リモコン： 1
リチウム電池 (CR2025)： 1
安全上のご注意： 1
保証書： 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内： 1

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために 折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかをご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2011-2012

<KKMZ> <12D0000> <YRA5068-D/S>